

**Sterling B2B Integrator**



## **システム要件**

**バージョン 5.2.0 - 5.2.5**



**Sterling B2B Integrator**



## **システム要件**

**バージョン 5.2.0 - 5.2.5**

**Note**

Before using this information and the product it supports, read the information in 55 ページの『Notices』.

**Copyright**

This edition applies to Version 5 Release 2 of Sterling B2B Integrator and to all subsequent releases and modifications until otherwise indicated in new editions.

© Copyright IBM Corporation 2000, 2015.

---

## 目次

システム要件 . . . . .	1	iSeries ハードウェア . . . . .	36
Sterling B2B Integrator 5.2 のシステム要件 . . . . .	1	iSeries ソフトウェア . . . . .	36
2013 年 12 月のリリースの Sterling B2B Integrator		iSeries JDK 要件. . . . .	40
5.2.4 . . . . .	2	JCE 要件 (すべてのプラットフォーム) . . . . .	44
プラットフォーム. . . . .	2	JDBC ドライバー要件 (すべてのデータベース) . . . . .	45
データベース . . . . .	4	周辺サーバー要件 (UNIX/Linux および Windows). . . . .	45
IPv6 の機能 . . . . .	10	インターネット・ブラウザおよびプラグインの要	
仮想化のサポート . . . . .	12	件 (すべてのプラットフォーム). . . . .	46
UNIX/Linux 要件 . . . . .	14	Map Editor および Graphical Process Modeler System	
UNIX/Linux ホスト・システム . . . . .	14	の要件 . . . . .	46
UNIX/Linux JDK 要件. . . . .	14	SWIFTNet7 アダプター要件 . . . . .	48
Windows 要件 . . . . .	32	サポートされるサード・パーティー・ソフトウェア	49
Windows クライアント・システム. . . . .	32	変更履歴 . . . . .	50
Windows Server ホスト・システム. . . . .	32		
Windows JDK 要件. . . . .	33		
iSeries 要件 . . . . .	36	<b>Notices . . . . .</b>	<b>55</b>



---

## システム要件

Sterling B2B Integrator のシステム要件は、ビジネス・ニーズとシステム環境に応じて異なります。お客様のニーズに対する固有の要件に従うようにしてください。

---

### Sterling B2B Integrator 5.2 のシステム要件

IBM® Sterling B2B Integrator のシステム要件は、ビジネス・ニーズとシステム環境に応じて異なります。パフォーマンスおよびシステム使用の要件を評価するには、Sterling B2B Integrator の営業担当員にお問い合わせください。影響を与える要因には以下が含まれますが、これらだけに限定されるわけではありません。

- 処理されるトランザクションの数。
- 転送されるデータの量。
- Sterling B2B Integrator を周辺サーバーありまたはなしのどちらで実行するか。
- 環境がクラスター (複数ノード) または非クラスター (単一ノード) のどちらであるか。

続くいくつかのセクションでは、Sterling B2B Integrator によってサポートされるプラットフォームとデータベースをリストしています。

- プラットフォーム
- データベース

続くいくつかのセクションでは、特定のプラットフォーム上で Sterling B2B Integrator をインストールおよび実行するために必要な、最小システム要件その他の情報をリストしています。

- IPv6 の機能
- UNIX/Linux 要件
- Windows 要件
- iSeries 要件

続くいくつかのセクションでは、Sterling B2B Integrator のインストールおよび実行に必要な追加情報をリストしています。

- JCE 要件 (すべてのプラットフォーム)
- JDBC ドライバー要件 (すべてのデータベース)
- 周辺サーバー要件 (UNIX/Linux および Windows)
- インターネット・ブラウザーおよびプラグインの要件 (すべてのプラットフォーム)
- Map Editor および Graphical Process Modeler System の要件
- サポートされるサード・パーティー・ソフトウェア

注: Sterling B2B Integrator は、JMS (Java Message Service) 用の ActiveMQ バージョン 5.0 および ActiveMQ バージョン 5.2 をサポートしています。

## サポートされる最小バージョン

サポートされるバージョンの情報を提示する場合、最初に示したバージョンが必要とされる最小バージョンです。これは製品テストに使用されたバージョンです。ただし、示されているパラメーター内の、それより高いすべてのバージョンがサポートされます。

例えば、「バージョン 1.6.0 SRxx FPxx 内の IBM JDK 1.6.0 SR8 FP1 以上」という記述は、1.6.0 SR8 FP1 がサポートされている最小の IBM JDK バージョンであり、テスト済みバージョンであることを意味します。また、バージョン 1.6.0 SR10 FP1 もサポートされます。ただし、バージョン 1.7.0 SR4 FP1 はサポートされません。これは、バージョン 1.6.0 SRxx FPxx 内に含まれないからです。

## 2013 年 12 月のリリースの Sterling B2B Integrator 5.2.4

2013 年 12 月にリリースされた Sterling B2B Integrator 5.2.4 インストール・メディアは、5.2.4.2 フィックスパックを自動的にインストールします。したがって、インストールが完了した時点で、Sterling B2B Integrator のバージョンは 5.2.4.2 になっています。

それ以前の Sterling B2B Integrator 5.2.4 インストール・メディアは、バージョン 5.2.4.0 をインストールしていました。

提示されているシステム要件を参照するときには、これらの違いを十分に考慮してください。

---

## プラットフォーム

Sterling B2B Integrator は、UNIX/Linux、Windows、および iSeries プラットフォームをサポートしています。

このトピックでは、以下のサポートされるプラットフォーム・バージョンを扱っています。

- UNIX/Linux
- Windows
- iSeries

### UNIX/Linux

Sterling B2B Integrator では、以下の UNIX/Linux プラットフォームがサポートされています。

**注:** UNIX/Linux で GUI インストール方式を使用する場合は、X Window 互換ソフトウェアが必要です。

- HP-UX 11.23 (PA-RISC または Itanium)、およびパッチ
  - HP-UX 11.23 は、HP-UX 11i v2 と呼ばれている
  - PA-RISC は、Sterling File Gateway でサポートされていない
  - PA-RISC は、Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上ではサポートされない
- HP-UX 11.31 (PA-RISC または Itanium)、およびパッチ



- HP-UX 11.31 は、HP-UX 11i v3 と呼ばれている
- PA-RISC は、Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上ではサポートされない

注: HP-UX 上では、WebSphere Transformation Extender (WTX) との統合は、Itanium でのみサポートされます。PA-RISC ではサポートされません。

- IBM AIX 5.3、5.x 以下のすべてのパッチを含む
- IBM AIX 6.1、6.x 以下のすべてのパッチを含む
- IBM AIX 7.1、7.x 以下のすべてのパッチを含む (Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 以上が必要)
- Oracle Solaris 9 (SPARC のみ)、適用可能なパッチを含む
- Oracle Solaris 10 (SPARC のみ)、適用可能なパッチを含む
- Oracle Solaris 11 (SPARC のみ)、適用可能なパッチを含む (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以上が必要)
- Red Hat Enterprise Linux リリース 5.5 (x64/x86 64 ビット・カーネルのみ)、5.x 以下のすべてのパッチを含む
- Red Hat Enterprise Linux Server リリース 6.1 以上 x64、64 ビット・カーネル、6.x 以下のすべてのパッチを含む。サポートされるカーネル・バージョン: 2.6.18-164.2.1.el5 以上でバージョン 2.x 以下。(Sterling B2B Integrator 5.2.4 以上が必要)
- Red Hat Enterprise Linux 5.5 for IBM System z、5.x 以下のすべてのパッチを含む (Sterling B2B Integrator 5.2.4 以上が必要)
- Red Hat Enterprise Linux 6.1 以上 for IBM System z、6.x 以下のすべてのパッチを含む。サポートされるカーネル・バージョン: 2.6.18-164.2.1.el5 以上でバージョン 2.x 以下。(Sterling B2B Integrator 5.2.4 以上が必要)

注: Red Hat Enterprise Linux for IBM System z 上での、WebSphere Transformation Extender (WTX) との統合には、WebSphere Transformation Extender バージョン 8.4.0.3.14 が必要です。

- SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 10 (x64/x86 64 ビット・カーネルのみ)、10.x 以下のすべてのパッチを含む
- SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 11 (x64/x86 64 ビット・カーネルのみ)、11.x 以下のすべてのパッチを含む
- SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 11 System z、11.x 以下のすべてのパッチを含む (Sterling B2B Integrator 5.2.4 以上が必要)

## Windows

Sterling B2B Integrator では、以下の Microsoft Windows プラットフォームがサポートされています。

- Microsoft Windows Server 2003 Standard Edition または Enterprise Edition R2 SP2 32 ビット、すべてのパッチまたはサービス・パックを含む

Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上ではサポートされない

- Microsoft Windows Server 2008 Standard Edition または Enterprise Edition R2 64 ビット、すべてのパッチまたはサービス・パックを含む

- Microsoft Windows Server 2012 Standard Edition R2 64 ビット、すべてのパッチまたはサービス・パックを含む (2015 年 4 月にリリースされた Sterling B2B Integrator V5.2.5 インストール・メディアを使用している、Sterling B2B Integrator V5.2.5 以上が必要です。)

## iSeries

Sterling B2B Integrator では、以下の IBM iSeries プラットフォームがサポートされています。

- i5/OS V5R4、すべてのパッチを含む (Sterling B2B Integrator 5.2.0 から 5.2.4.1 のみ)

Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以上ではサポートされません。この中には、2013 年 12 月にリリースされた Sterling B2B Integrator 5.2.4 インストール・メディアも含まれます。パッチによって 5.2.4.2 にアップグレードしたときには、ご使用の V5R4 オペレーティング・システムにもパッチを適用する必要があります。ただしその場合には、即座にご使用の iSeries を IBM i V6R1 または V7R1 にアップグレードするか、あるいは IBM i V6R1 または V7R1 を使用している iSeries に Sterling B2B Integrator インスタンスを物理的に移動してください。

- IBM i V6R1、すべてのパッチを含む

Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上ではサポートされない

- IBM i V7R1、すべてのパッチを含む (Sterling B2B Integrator 5.2.3 以上が必要)
- IBM i V7R2、およびパッチ (Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上が必要)

注: iSeries 上では WebSphere Transformation Extender (WTX) との統合はサポートされません。

## データベース

Sterling B2B Integrator によってサポートされている各オペレーティング・システムでは、特定のデータベースを使用できます。

以下の表では、Sterling B2B Integrator がサポートするプラットフォームとデータベースの組み合わせをリストしています。

	Oracle	MySQL	Microsoft SQL Server	DB2®	DB2 for i (DB2 for iSeries)
HP-UX 11.23 (PA-RISC) (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以下)	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「いいえ (No)」
HP-UX 11.23 for IA64 (Itanium)	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「いいえ (No)」
HP-UX 11.31 (PA-RISC) (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以下)	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「いいえ (No)」
HP-UX 11.31 for IA64 (Itanium)	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「いいえ (No)」

	Oracle	MySQL	Microsoft SQL Server	DB2®	DB2 for i (DB2 for iSeries)
IBM AIX® 5.3	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「いいえ (No)」
IBM AIX 6.1	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「いいえ (No)」
IBM AIX 7.1 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 以上)	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「いいえ (No)」
Oracle Solaris 9 (SPARC のみ)	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「いいえ (No)」
Oracle Solaris 10 (SPARC のみ)	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「いいえ (No)」
Oracle Solaris 11 (SPARC のみ) (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以上)	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「いいえ (No)」
Red Hat Enterprise Linux リリース 5.5 (x64/x86 64 ビット・カーネルのみ)	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「いいえ (No)」
Red Hat Enterprise Linux Server リリース 6.1 以上 x64、64ビット・カーネル (Sterling B2B Integrator 5.2.4 以上)	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「いいえ (No)」
Red Hat Enterprise Linux 5.5 for IBM System z® (Sterling B2B Integrator 5.2.4 以上)	「いいえ (No)」	「いいえ (No)」	「いいえ (No)」	「はい (Yes)」	「いいえ (No)」
Red Hat Enterprise Linux 6.1 以上 for IBM System z (Sterling B2B Integrator 5.2.4 以上)	「いいえ (No)」	「いいえ (No)」	「いいえ (No)」	「はい (Yes)」	「いいえ (No)」
SUSE Linux Enterprise Server 10 (x64/x86 64 ビット・カーネルのみ)	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「いいえ (No)」
SUSE Linux Enterprise Server 11 (x64/x86 64 ビット・カーネルのみ)	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「いいえ (No)」
SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 11 System z (Sterling B2B Integrator 5.2.4 以上)	「いいえ (No)」	「いいえ (No)」	「いいえ (No)」	「はい (Yes)」	「いいえ (No)」
Microsoft Windows Server 2003 Standard Edition または Enterprise Edition R2 SP2 32 ビット (Sterling B2B Integrator 5.2 から 5.2.4)	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「いいえ (No)」

	Oracle	MySQL	Microsoft SQL Server	DB2®	DB2 for i (DB2 for iSeries)
Microsoft Windows Server 2008 Standard Edition または Enterprise Edition R2 64 ビット (Sterling B2B Integrator 5.2 から 5.2.5)	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「いいえ (No)」
Microsoft Windows Server 2012 Standard Edition R2 64 ビット、すべてのパッチまたはサービス・パックを含む。(2015 年 4 月にリリースされた Sterling B2B Integrator V5.2.5 インストール・メディアを使用している、Sterling B2B Integrator V5.2.5 以上が必要です。)	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「いいえ (No)」
IBM iSeries i5/OS™ V5R4 (iSeries にバンドル) (現行の Sterling B2B Integrator 5.2.0 から 5.2.4.1 のインストール済み環境のみ。)  Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以上ではサポートされません。この中には、2013 年 12 月にリリースされた Sterling B2B Integrator 5.2.4 インストール・メディアも含まれます。	「いいえ (No)」	「いいえ (No)」	「いいえ (No)」	「いいえ (No)」	「はい (Yes)」
IBM i V6R1 (iSeries にバンドル) (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以下)	「いいえ (No)」	「いいえ (No)」	「いいえ (No)」	「いいえ (No)」	「はい (Yes)」
IBM i V7R1 (iSeries にバンドル)	「いいえ (No)」	「いいえ (No)」	「いいえ (No)」	「いいえ (No)」	「はい (Yes)」
IBM i V7R2 (iSeries にバンドル) (Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上)	「いいえ (No)」	「いいえ (No)」	「いいえ (No)」	「いいえ (No)」	「はい (Yes)」

Sterling B2B Integrator では、以下のデータベース・バージョンがサポートされています。

**メモ:**

- 32 ビット・アーキテクチャーのオペレーティング・システムにインストールされた Sterling B2B Integrator は、データベースが別個のマシン上にインストールされている場合は、64 ビット・アーキテクチャーのデータベースをサポートしません。

- Sterling B2B Integrator は、Oracle RAC または Microsoft SQL Server データベースを使用する場合、データベース・レベルでのクラスターの使用をサポートします。ただし、クラスター・データベースのセットアップを支援できるのは、お客様のデータベース・ベンダーだけです。
- クラスター化されている Sterling B2B Integrator インストール済み環境は、外部の (クラスター化されていない) MySQL データベースで使用できます。

プラットフォーム	サポートされるデータベース
Oracle	Oracle Database 11g Standard Edition および Enterprise Edition のリリース 1 <ul style="list-style-type: none"> <li>• バージョン 11.1.0.7.0 以上でバージョン 11.1.x.x.x 以下</li> <li>• RAC または非 RAC</li> </ul>
	Oracle Database 11g Standard Edition および Enterprise Edition のリリース 2 <ul style="list-style-type: none"> <li>• バージョン 11.2.0.2.0 以上でバージョン 11.2.x.x.x 以下</li> <li>• RAC または非 RAC</li> </ul>
	Oracle Database 12c Standard Edition および Enterprise Edition (Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上) <ul style="list-style-type: none"> <li>• バージョン 12.1.0.2 以上でバージョン 12.1.x.x 以下</li> <li>• 非 RAC のみ</li> </ul>
	<b>メモ:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• RAC は、Real Application Clusters の略称です。詳しくは、Oracle の資料を参照してください。</li> <li>• SCAN (Single Client Access Name) は、Oracle RAC 11g R2 で使用可能であり、Sterling B2B Integrator とともに使用できます。 <b>重要:</b> Oracle 12c RAC がこの時点ではサポートされていないため、SCAN を Oracle 12c と一緒に使用することはできません。SCAN サポートは、将来、Oracle 12c RAC サポートが提供された時点で使用可能になります。</li> <li>• Sterling B2B Integrator は、Oracle RAC を除く単一ノードのデータベースで JDBC Type-4 ドライバーをサポートします。JDBC Type-4 ドライバーを使用して、複数ノードの Oracle RAC と接続できます。</li> </ul>
MySQL	MySQL Enterprise Edition 5.1.45 以上でバージョン 5.1.x 以下
	<b>注:</b> MySQL ではストリング値を使用した検索で大文字小文字は区別されません。例えば、「Admin」と「admin」というユーザーの検索では検索結果は同じになります。その結果、データベース内に保存されているマップ、ビジネス・プロセス、サービス、メールボックス、ユーザー名、およびその他のデータの検索に影響します。

プラットフォーム	サポートされるデータベース
DB2 for i (以前の DB2 for iSeries)	DB2 for System i <sup>®</sup> レベル 31 for V5R4  (Sterling B2B Integrator 5.2.0 から 5.2.4.1 のみ) <b>注:</b> 2013 年 12 月以降にリリースされた Sterling B2B Integrator 5.2.4 インストール・メディアを使用している新規のインストール済み環境は、IBM i V5R4 オペレーティング・システムではサポートされません。
	DB2 for i レベル 20 for V6R1 (v 5.2.0 から 5.2.4.1)  DB2 for i レベル 29 for V6R1 (パッチによって 5.2.4.2 にアップグレードされた Sterling B2B Integrator のみ。新規のインストール済み環境は、2013 年 12 月以降にリリースされた Sterling B2B Integrator 5.2.4 インストール・メディアを使用する必要があります。)
	DB2 for IBM i レベル 9 for V7R1 (Sterling B2B Integrator 5.2.3 から 5.2.4.1)  DB2 for IBM i レベル 23 for V7R1 (パッチによって 5.2.4.2 以上にアップグレードされた Sterling B2B Integrator。新規のインストール済み環境は、2013 年 12 月以降にリリースされた Sterling B2B Integrator 5.2.4 インストール・メディアを使用する必要があります。)
	DB2 for IBM i レベル 30 for V7R1 (Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上)
	DB2 for IBM i レベル 2 for V7R2 (Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上)
	<b>注:</b> DB2 データベースのサポートには、Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 以下における DB2 pureScale <sup>®</sup> のサポートは含まれません。DB2 pureScale は、Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以上でサポートされています。

プラットフォーム	サポートされるデータベース
DB2 for Linux, UNIX, and Windows	DB2 Enterprise Server Edition 9.5 以上でバージョン 9.5.x 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以下)
	DB2 Advanced Enterprise Server Edition 9.7 以上でバージョン 9.7.x 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以下)  (SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 11 System z に必要)  <b>注:</b> IBM DB2 Workgroup Server Edition for Sterling B2B Integrator に同梱されている IBM DB2 v9.7 のインスタンスは、メモリーが 4 G バイトに制限されていることを認識しておく必要があります。この点は、Sterling B2B Integrator でそれを使用する方法に影響することがあります。Sterling B2B Integrator 5.2.5 および IBM DB2 v10.5 にアップグレードすると、IBM DB2 Workgroup Server Edition for Sterling B2B Integrator のメモリー制限は 128 G バイトに増加します。
	DB2 10.1 以上でバージョン 10.1.x 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以上) <b>注:</b> IBM DB2 Workgroup Server Edition for Sterling B2B Integrator に同梱されている IBM DB2 v10.1 のインスタンスは、メモリーが 8 G バイトに制限されていることを認識しておく必要があります。この点は、Sterling B2B Integrator でそれを使用する方法に影響することがあります。Sterling B2B Integrator 5.2.5 および IBM DB2 v10.5 にアップグレードすると、IBM DB2 Workgroup Server Edition for Sterling B2B Integrator のメモリー制限は 128 G バイトに増加します。
	DB2 Advanced Enterprise Server Edition 10.5 以上でバージョン 10.5.x 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上)
	<b>注:</b> DB2 データベースのサポートには、Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 以下における DB2 pureScale のサポートは含まれません。DB2 pureScale は、Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以上でサポートされています。 <b>注:</b> DB2 Workgroup Server Edition は、Sterling B2B Integrator に同梱されています。ただし、お客様のビジネスによっては IBM DB2 Enterprise Server Edition が必要になる場合があります。それぞれの機能、フィーチャー、および利点をよく理解し、お客様のビジネス目標に最適のエディションを選択してください。ご使用の DB2 インストール済み環境のアップグレードについて詳しくは、IBM 営業担当員にお問い合わせください。

プラットフォーム	サポートされるデータベース
MS SQL Server	Microsoft SQL Server 2005 Enterprise Edition および Standard Edition (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以下) <ul style="list-style-type: none"> <li>バージョン 9.0.3152 以上でバージョン 9.0.x 以下</li> </ul>
	Microsoft SQL Server 2008 Enterprise Edition および Standard Edition <ul style="list-style-type: none"> <li>バージョン 10.0.1600.22 以上でバージョン 10.0.x.x 以下</li> </ul>
	Microsoft SQL Server 2008 R2 (SP1) Enterprise Edition および Standard Edition <ul style="list-style-type: none"> <li>バージョン 10.50.2550.0 以上でバージョン 10.50.x.x 以下</li> </ul> 追加要件: <ul style="list-style-type: none"> <li>Sterling B2B Integrator 5.2 より前のバージョンからアップグレードする場合、Sterling B2B Integrator 5.2.4 から 5.2.5 が必要。</li> <li>Sterling B2B Integrator 5.2 から 5.2.4 のバージョンから更新する場合、Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 から 5.2.5 が必要。</li> <li>特定の指示およびさらに詳しい説明については、Sterling B2B Integrator 5.2 のインストール資料を参照してください。</li> </ul>
	Microsoft SQL Server 2012 SP1 Enterprise Edition および Standard Edition <ul style="list-style-type: none"> <li>バージョン SP1 累積的更新パッケージ 9 以上でバージョン SP1 以下。</li> <li>バージョン 11.0.3412.0 以上でバージョン 11.0.x.x 以下</li> </ul> 追加要件: <ul style="list-style-type: none"> <li>Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上が必要です。</li> <li>特定の指示およびさらに詳しい説明については、Sterling B2B Integrator 5.2 のインストール資料を参照してください。</li> </ul>

## IPv6 の機能

拡張インターネット・プロトコル (IP) に対する市場需要の増加により、インターネット・プロトコル、バージョン 4 (IPv4) アドレスの世界的供給量が低下しました。インターネット・プロトコル、バージョン 6 (IPv6) により、IP アドレス・スペースは 32 ビットから 128 ビットに拡張され、IP アドレスの供給量が増加しています。

### IPv6 のサポートされる組み合わせ

Sterling B2B Integrator は IPv6 サポートに対応しており、デュアル IPv4/IPv6 スタック、トンネリング、プロキシ、および 2 つの IP アドレス・バージョン間の変換を提供しています。

Sterling B2B Integrator は、多くがまだ IPv6 アドレスをサポートしていないさまざまな関連製品と相互運用により連携します。したがって、Sterling B2B Integrator では、限定された構成セットが IPv6 アドレスを使用します。デュアル・スタック方式では、可能な場合には、Sterling B2B Integrator と、IPv4 および IPv6 対応のサービスやアダプターの混合セットとの間の相互運用性が許可されます。

ただし、IPv6 のインストールを実装することを選択した場合、Sterling B2B Integrator のシステム要件、および選択するサービスとアダプターに制限があります。



す。IPv6 アドレスを使用して Sterling B2B Integrator のインストールを試行する前に、それらの制限について検討してください。

**注意:**

インストールは、IPv6 アドレスではなく、ホスト名を使用して行う必要があります。さもないと、Lightweight JDBC Adapter および Graphical Process Modeler (GPM) は機能しません。

以下の表に、Sterling B2B Integrator によってサポートされる IPv6 構成の組み合わせをリストします。

**重要:** Red Hat Enterprise Linux for IBM System z および SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 11 System z では、DB2 のみがサポートされます。

データベース	AIX	Windows	Linux	Solaris	HP
DB2	「はい (Yes)」	「いいえ (No)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」
MSSQL	「いいえ (No)」	「いいえ (No)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」
Oracle	「いいえ (No)」	「いいえ (No)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」
MySQL	「いいえ (No)」	「いいえ (No)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」	「はい (Yes)」

**注:** IBM コンサルティング・サービスでは、移行テクノロジーを使用して、IPv6 準拠環境での Sterling B2B Integrator の実装を支援することができます。Sterling B2B Integrator と共に使用するサード・パーティー・ツール (Web サーバー、FTP クライアント、および MQ サーバーなど) の IPv6 準拠性を確認してください。

以下の Sterling B2B Integrator コンポーネントは、IPv6 に準拠しますが、いくつかの制限があります。

**重要:** 各コンポーネントの状況は、IPv6 準拠を提供する、IBM のテクノロジー・パートナーの増加とともに更新されます。

コンポーネント	IPv6 準拠	制限
HTTP クライアント/サーバー・アダプター	フル	-
HTTP GET/POST サービス	フル	-
HTTP 開始/終了セッション・アダプター	フル	-
FTP クライアント/サーバー・アダプター	フル	-
WSMQ アダプター	フル	-
PGP パッケージ/アンパック・サービス	フル	-
Command Line アダプター 2	フル	-
WSMQ Suite アダプター	フル	-

コンポーネント	IPv6 準拠	制限
JMS アダプター	部分	文字「[」が許可されないため、URI は IPv6 アドレスを受け入れません。ただし、ホスト名では機能します。
SFTP クライアント/サーバー・アダプター	フル	-
SMTP/POP3/MIME	フル	-
FSA	フル	-
Lightweight JDBC アダプター	部分	DB2 と AIX の組み合わせでのみ、IPv6 リモート・ホストをサポートします。ただし、Sterling B2B Integrator インストール済み環境で IPv6 アドレスが使用されている場合でも、Lightweight JDBC Adapter は、IPv4 リモート・ホストを使用することにより、このアダプターによって現在サポートされている他のどのデータベースでも使用することができます。
RMI アダプター	部分	文字「[」が許可されないため、URI は IPv6 アドレスを受け入れません。ただし、ホスト名では機能します。
Web サービス	フル	-
BEA Tuxedo アダプター	フル	-
Zengin アダプター	フル	-
ConnectDirect	フル	C:D UNIX 4.0 および C:D Windows 4.4.00 で IPv6 をサポートします。
E5	フル	-
TIBCO アダプター	フル	-
SNMP	フル	-
Transora アダプター	フル	-
OFTP	フル	-
SAP Suite アダプター	サポートされない	-
JGroups	部分	AIX では IPV6 を JGroups と一緒に使用しないでください。

## 仮想化のサポート

Sterling B2B Integrator は、多くのシステムで仮想化をサポートします。

### RISC ベース・システムの仮想化サポート

オペレーティング・システム固有のクラスター化、区画化、または仮想化は、以下に示す、Sterling B2B Integrator でサポートされるすべての RISC ベース・プラットフォームでサポートされます。

- AIX (P5 以上):
  - 区画化/仮想化 - PowerVM、LPAR、dLPAR

- クラスター化/フェイルオーバー - HACMP™
- HP-UX:
  - 区画化/仮想化 - リソース・パーティション
  - クラスター化/フェイルオーバー - MC/ServiceGuard
- Solaris:
  - 区画化/仮想化 - コンテナおよびゾーン (ローカルおよびグローバル)
- IBM iSeries/System i:
  - 区画化/仮想化 - PowerVM LPARS

**重要:** IBM では、仮想化された RISC サーバー上の Linux または Windows をサポートしません。Sterling B2B Integrator で使用されている IP アドレスを変更する構成または操作を行わないように、仮想化を使用する際は注意してください。このリスト内のメカニズムは一般にサポートされますが、このリストは、IBM がこれらの仮想化メカニズムを内部で使用していることを意味しているわけではありません。

### **x86/x64 ベース・システムの仮想化サポート**

IBM では、仮想化されたプラットフォームのすべての可能な組み合わせを維持することはできません。ただし、IBM では、VMware ESX、VMware ESXi、VMware vSphere、Citrix Xen Hypervisor、KVM (カーネル・ベースの仮想マシン)、および Microsoft Hyper-V Server などの、すべてのエンタープライズ・クラス仮想化メカニズムを一般にサポートしています。

### **RISC および x86/x64 アーキテクチャーについてのその他の考慮事項**

IBM では、問題が仮想化によるものであると判別されるまで、問題の調査とトラブルシューティングを実行します。以下のガイドラインが適用されます。

- システムが仮想化されているために特定の問題が発生している疑いがあるのに、IBM の非仮想化環境でその問題を再現できないときには、ライブ・ミーティング・セッションでお客様に実際に発生している問題を見せていただくよう要求をする場合があります。また、すべてのタイプ、すべてのバージョンの VM ソフトウェアが社内にインストールされているわけではないため、お客様のテスト環境で共同で詳細なトラブルシューティングを行うことを求める場合もあります。
- 社内の非仮想化環境で問題を再現できず、お客様の環境での共同トラブルシューティングにより、その問題が VM ソフトウェア自体に関するものであることが示された場合、お客様が VM ソフトウェアのプロバイダーと一緒にサポート・チケットをオープンすることを求めます。IBM は、プロバイダーおよびお客様と喜んで会談し、お客様の代わりにプロバイダーが問題の詳細なトラブルシューティングを行う上で役立つように IBM が提供する情報を共有します。
- 仮想化の使用を選択する場合には、仮想化の利点をそのパフォーマンスの影響と比較してバランスを取る必要があります。IBM は、仮想化プラットフォームの構成、管理、または調整に関するアドバイスは提供していません。

---

## UNIX/Linux 要件

このトピックでは、Sterling B2B Integrator を UNIX/Linux プラットフォームにインストールして実行するために必要な最小システム要件その他の情報を扱っています。

### UNIX/Linux ホスト・システム

UNIX または Linux ホスト・システムに Sterling B2B Integrator をインストールする場合の最小システム要件があります。

UNIX/Linux ホスト・システムの最小要件は以下のとおりです。

- 4 GB RAM
- 15 GB の空きディスク・スペース
- 2048 以上のファイル記述子サイズは (推奨設定は「制限なし」)
- 最小システム要件を確認するには、データベース・サーバーの付属として受け取った文書を参照してください。

Sterling B2B Integrator とデータベースとは、異なるサーバー上で実行することをお勧めします。

- Solaris サーバーを使用する場合、Sterling B2B Integrator は SPARC ベースの Solaris サーバー上でのみ実行します。Sterling B2B Integrator は、x86 (Intel) ベースの Solaris サーバー上では実行しません。
- Red Hat または SUSE Linux サーバーを使用する場合、Sterling B2B Integrator は x64/x86 ベースの Linux サーバー上でのみ実行します。ただし、Red Hat Enterprise Linux for IBM System z および SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 11 System z は、Sterling B2B Integrator 5.2.4 以上でサポートされます。
- ファイル・システム・スペースは、ファイル・システムに文書を保管するためのオプションを使用する場合に必要です。必要なスペースの量は、保管する文書のサイズと、ファイル・システム上に文書を保持するように選択する時間の長さに応じて異なります。
- 周辺サーバーの要件については、『周辺サーバー要件 (UNIX/Linux および Windows)』を参照してください。
- UNIX/Linux のインストール済み環境の Sterling B2B Integrator でグラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) を使用する場合は、X Window 互換ツールをインストールする必要があります。
- ファイルを保管することを選択する場合は、追加のシステム・スペースが必要です。

### UNIX/Linux JDK 要件

UNIX プラットフォーム上に Sterling B2B Integrator および (適切な場合に) 周辺サーバーをインストールするための特定の JDK 要件があります。

アップグレードする際は、以下のガイドラインを使用してください。

- Gentran Integration Suite 4.x または Sterling B2B Integrator 5.0 から、Sterling B2B Integrator 5.2.0 から 5.2.4.1 にアップグレードする場合、JDK バージョンを 1.6 にアップグレードします。

- Gentran Integration Suite 4.x または Sterling B2B Integrator 5.0 から Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 にアップグレードする場合、JDK バージョンを 1.6 または 1.7 にアップグレードします。
- Gentran Integration Suite 4.x または Sterling B2B Integrator 5.0 から Sterling B2B Integrator 5.2.5 にアップグレードする場合、JDK バージョンを 1.7 にアップグレードします。

以下の表では、UNIX/Linux JDK の要件をリストしています。この表を使用する場合には、次のガイドラインに従ってください。

- 2 つの OS (オペレーティング・システム) 列は、UNIX/Linux ベンダーが 32 ビットまたは 64 ビットのオペレーティング・システムをサポートするかどうかを示しています。
- オペレーティング・システム固有の仮想化ソリューションは、それらすべてのプラットフォームでサポートされます (例えば、Solaris コンテナおよびゾーン (ローカルおよびグローバル)、HACMP for AIX、HP-UX MC/ServiceGuard など)。

注: JDK には、複数のタイプのバージョン番号があります。例えば、JDK 6.0 と JDK 1.6.0 は両方とも、同じ JDK の名前です。「バージョン 6.0」は、マーケティング、資料、その他の書面での通信で使用されます。JDK をダウンロードする際には、Web ページ上で Java SE Development Kit 6uxx と示されます。「バージョン 1.6.0」は、ファイル名で使用されます。ダウンロードされる JDK ファイルでは、JDK の要件表に表示されるその名前が使用されます。

オペレーティング・システム	JDK 要件	32 ビット OS	64 ビット OS
Oracle Solaris 9 (SPARC のみ)	<p>Oracle JDK 1.6.0_24 (64 ビット) (Sterling B2B Integrator 5.2.0 から 5.2.4)</p> <p>Oracle JDK 1.6.0_31 (64 ビット) 以上で 1.6.0_xx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 のみ)</p> <p>Hybrid IBM JDK 1.6.0 (64 ビット) IBM ビルド 1.6.0_51-b11 25_Jun_2013_06_36 solaris sparcv9 (SR14) 以上で 1.6.0_xx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)</p> <p>Hybrid IBM JDK 1.7.0 (64 ビット) IBM ビルド 1.7.0_25-b15 25_Jun_2013_12_45 solaris sparcv9(SR5) 以上で 1.7.0_xx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)</p> <p>Solaris の最小パッチ要件は、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 113096-03</li> <li>• 112963-25</li> <li>• 111711-16</li> <li>• 111712-16</li> <li>• 113886-38</li> <li>• 113887-38</li> <li>• 112785-56</li> </ul> <p>Hybrid IBM JDK 1.7.0 (64 ビット) IBM ビルド 1.7.0_65-b33 17_Jul_2014_08_36 solaris sparcv9(SR7 FP1) 以上で 1.7.0_xx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上)</p>	サポートされない	「はい (Yes)」

オペレーティング・システム	JDK 要件	32 ビット OS	64 ビット OS
Oracle Solaris 10 (SPARC のみ)	<p>Oracle JDK 1.6.0_24 (64 ビット) - Sterling B2B Integrator 5.2.0 から 5.2.4</p> <p>Oracle JDK 1.6.0_31 (64 ビット) 以上で 1.6.0_xx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 のみ)</p> <p>Hybrid IBM JDK 1.6.0 (64 ビット) IBM ビルド 1.6.0_51-b11 25_Jun_2013_06_36 solaris sparcv9 (SR14) 以上で 1.6.0_xx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)</p> <p>Hybrid IBM JDK 1.7.0 (64 ビット) IBM ビルド 1.7.0_25-b15 25_Jun_2013_12_45 solaris sparcv9(SR5) 以上で 1.7.0_xx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)</p> <p>Solaris の最小パッチ要件は、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 121133-02</li> <li>• 120900-04</li> <li>• 119254-27</li> <li>• 119578-29</li> <li>• 118822-30</li> <li>• 118833-22</li> </ul> <p>Hybrid IBM JDK 1.7.0 (64 ビット) IBM ビルド 1.7.0_65-b33 17_Jul_2014_08_36 solaris sparcv9(SR7 FP1) 以上で 1.7.0_xx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上)</p>	サポートされない	「はい (Yes)」
Oracle Solaris 11 (SPARC のみ)  (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以上)	<p>Hybrid IBM JDK 1.7.0 (64 ビット) IBM ビルド 1.7.0_25-b15 25_Jun_2013_12_45 solaris sparcv9(SR5) 以上で 1.7.0_xx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)</p> <p>Solaris の最小パッチ要件は、JDK 7.0 で必要とされる最新のパッチ・レベルです。</p> <p>Hybrid IBM JDK 1.7.0 (64 ビット) IBM ビルド 1.7.0_65-b33 17_Jul_2014_08_36 solaris sparcv9(SR7 FP1) 以上で 1.7.0_xx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上)</p>	サポートされない	あり

オペレーティング・システム	JDK 要件	32 ビット OS	64 ビット OS
<p>AIX 5.3 (Sterling B2B Integrator Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以下のみ)</p>	<p>IBM AIX JDK 1.6.0 (64 ビット) ビルド pap6460sr8fp1-20100624_01(SR8 FP1) (Sterling B2B Integrator 5.2.0 から 5.2.4)</p> <p>IBM AIX JDK 1.6.0 (64 ビット) ビルド pap6460sr8fp1-20100624_01(SR8 FP1) 以上でバージョン 1.6.0 SRx FPx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 のみ)</p> <p>注: SR9 FP1 より前のバージョンの JDK の場合、セキュリティー・アップデーター・ツール (IZ94423_FIX_1.jar) を実行する必要があります。</p> <p>IBM AIX JDK 1.6.0 (64 ビット) ビルド pap6460sr14-20130705_01(SR14) 以上でバージョン 1.6.0 SRx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)</p> <p>(「oslevel -r」を使用して) AIX OS 最小要件を求める場合、次のサイトに示す最小 AIX サポート・レベルに従ってください: <a href="https://www.ibm.com/developerworks/java/jdk/aix/service.html">https://www.ibm.com/developerworks/java/jdk/aix/service.html</a></p>	<p>サポートされない</p>	<p>「はい (Yes)」</p>



オペレーティング・システム	JDK 要件	32 ビット OS	64 ビット OS
AIX 6.1	<p>IBM AIX JDK 1.6.0 (64 ビット) ビルド pap6460sr8fp1-20100624_01(SR8 FP1) (Sterling B2B Integrator 5.2.0 から 5.2.4)</p> <p>IBM AIX JDK 1.6.0 (64 ビット) ビルド pap6460sr8fp1-20100624_01(SR8 FP1) 以上でバージョン 1.6.0 SRx FPx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 のみ)</p> <p>注: SR9 FP1 より前のバージョンの JDK の場合、セキュリティ・アップデーター・ツール (IZ94423_FIX_1.jar) を実行する必要があります。</p> <p>IBM AIX JDK 1.6.0 (64 ビット) ビルド pap6460sr14-20130705_01(SR14) 以上でバージョン 1.6.0 SRx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)</p> <p>IBM AIX JDK 1.7.0 (64 ビット) ビルド pap6470sr5-20130619_01(SR5) 以上でバージョン 1.7.0 SRx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)</p> <p>IBM AIX JDK 1.7.0 (64 ビット) ビルド pap6470sr7fp1-20140708_01(SR7 FP1) 以上でバージョン 1.7.0 SRx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上)</p> <p>(「oslevel -r」を使用して) AIX OS 最小要件を求める場合、次のサイトに示す最小 AIX サポート・レベルに従ってください:  <a href="https://www.ibm.com/developerworks/java/jdk/aix/service.html">https://www.ibm.com/developerworks/java/jdk/aix/service.html</a></p>	サポートされない	「はい (Yes)」

オペレーティング・システム	JDK 要件	32 ビット OS	64 ビット OS
AIX 7.1 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 以上)	<p>IBM AIX JDK 1.6.0 (64 ビット) ビルド pap6460sr8fp1-20100624_01(SR8 FP1) 以上でバージョン 1.6.0 SRx FPx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 のみ)</p> <p>注: セキュリティー・アップデーター・ツール - IZ94423_FIX_1.jar を実行する必要があります。</p> <p>IBM AIX JDK 1.6.0 (64 ビット) ビルド pap6460sr14-20130705_01(SR14) 以上でバージョン 1.6.0 SRx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)</p> <p>IBM AIX JDK 1.7.0 (64 ビット) ビルド pap6470sr5-20130619_01(SR5) 以上でバージョン 1.7.0 SRx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)</p> <p>IBM AIX JDK 1.7.0 (64 ビット) ビルド pap6470sr7fp1-20140708_01(SR7 FP1) 以上でバージョン 1.7.0 SRx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上)</p> <p>(「oslevel -r」を使用して) AIX OS 最小要件を求める場合、次のサイトに示す最小 AIX サポート・レベルに従ってください:  <a href="https://www.ibm.com/developerworks/java/jdk/aix/service.html">https://www.ibm.com/developerworks/java/jdk/aix/service.html</a></p>	サポートされない	「はい (Yes)」

オペレーティング・システム	JDK 要件	32 ビット OS	64 ビット OS
<p>HP-UX 11.23 (PA-RISC または Itanium) (HP-UX 11i v2 とも呼ばれる)</p> <p>HP-UX 11.31 (PA-RISC または Itanium) (HP-UX 11i v3 とも呼ばれる)</p> <p><b>重要:</b> PA-RISC は、Sterling B2B Integrator 5.2.5 ではサポートされていません。</p>	<p>HP-UX JDK 1.6.0_04 (64 ビット) (Sterling B2B Integrator 5.2.0 から 5.2.4)</p> <p>HP-UX JDK 1.6.0_04 (64 ビット) 以上でバージョン 1.6.0_xx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 のみ)</p> <p><b>注:</b> セキュリティー・アップデーター・ツール - fpupdater tool 1.0 を実行する必要があります。</p> <p>Hybrid IBM JDK 1.6.0 (64 ビット) IBM ビルド 1.6.0.20-jinteg_20_jun_2013_10_03-b00 24_Jul_2013_18_47 hpux IA64W (SR14) 以上で 1.6.0_xx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)</p> <p>Hybrid IBM JDK 1.7.0 (64 ビット) IBM ビルド 1.7.0.07-jinteg_2013_07_11_08_03-b00 24_Jul_2013_14_49 hpux IA64W(SR5) 以上で 1.7.0_xx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)</p> <p>Hybrid IBM JDK 1.7.0 (64 ビット) IBM ビルド 1.7.0.10-jinteg_2014_07_23_03_53-b00 26_Aug_2014_09_50 hpux IA64W(SR7 FP1) 以上で 1.7.0_xx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上)</p> <p>HPJconfig ユーティリティーによって決定されるパッチ要件およびカーネル・パラメーターとそのチャートは、以下のサイトにあります。</p> <p><a href="http://ftp.hp.com/pub/softlib/hpuxjava-patchinfo/index.html">http://ftp.hp.com/pub/softlib/hpuxjava-patchinfo/index.html</a></p>	サポートされない	「はい (Yes)」

オペレーティング・システム	JDK 要件	32 ビット OS	64 ビット OS
Red Hat Enterprise Linux リリース 5.5 (x64/x86 64 ビット・カーネルのみ)	<p>IBM JDK 1.6.0 SR8 FP1 (64 ビット) ビルド pxa6460sr8fp1-20100624_01(SR8 FP1) (Sterling B2B Integrator 5.2.0 から 5.2.4)  <b>注:</b> セキュリティー・アップデーター・ツール - IZ94423_FIX_1.jar を実行する必要があります。</p> <p>IBM JDK 1.6.0 SR8 FP1 (64 ビット) ビルド pxa6460sr8fp1-20100624_01(SR8 FP1) 以上でバージョン 1.6.0 SRx FPx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 のみ)  <b>注:</b> セキュリティー・アップデーター・ツール - IZ94423_FIX_1.jar を実行する必要があります。</p> <p>IBM JDK 1.6.0 (64 ビット) ビルド pxa6460sr14-20130705_01(SR14) 以上でバージョン 1.6.0 SRx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)</p> <p>IBM JDK 1.7.0 (64 ビット) ビルド pxa6470sr5-20130619_01(SR5) 以上でバージョン 1.7.0 SRx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)</p> <p>IBM JDK 1.7.0 (64 ビット) ビルド pxa6470sr7fp1-20140708_01(SR7 FP1) 以上でバージョン 1.7.0 SRx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上)</p> <p>JDK は、RHEL5 の GA リリース時に IBM によって認定されました。現在のパッチ・レベルに RHEL のパッチを適用することを推奨します。</p> <p>最小カーネル・バージョン: 2.6.18-164.2.1.el5</p> <p>最小 glibc バージョン: 2.5-42</p>	サポート されない	「はい (Yes)」

オペレーティング・システム	JDK 要件	32 ビット OS	64 ビット OS
Red Hat Enterprise Linux Server リリース 6.1 以上 x64、64 ビット・カーネル (Sterling B2B Integrator 5.2.4 以上)	<p>IBM JDK 1.6.0 SR9 FP2 (64 ビット) ビルド pxa6460sr9fp2-20110625_01(SR9 FP2) (Sterling B2B Integrator 5.2.4 のみ)</p> <p>IBM JDK 1.6.0 SR9 FP2 (64 ビット) ビルド pxa6460sr9fp2-20110625_01(SR9 FP2) 以上でバージョン 1.6.0 SRx FPx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 のみ)</p> <p>IBM JDK 1.6.0 (64 ビット) ビルド pxa6460sr14-20130705_01(SR14) 以上でバージョン 1.6.0 SRx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)</p> <p>IBM JDK 1.7.0 (64 ビット) ビルド pxa6470sr5-20130619_01(SR5) 以上でバージョン 1.7.0 SRx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)</p> <p>IBM JDK 1.7.0 (64 ビット) ビルド pxa6470sr7fp1-20140708_01(SR7 FP1) 以上でバージョン 1.7.0 SRx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上)</p> <p>JDK は、RHEL6 の GA リリース時に IBM によって認定されました。現在のパッチ・レベルに RHEL のパッチを適用することを推奨します。</p> <p>最小カーネル・バージョン: 2.6.18-164.2.1.el5 以上でバージョン 2.x 以下</p> <p>最小 glibc バージョン: 2.5-42</p>	サポートされない	「はい (Yes)」

オペレーティング・システム	JDK 要件	32 ビット OS	64 ビット OS
Red Hat Enterprise Linux 5.5 for IBM System z (Sterling B2B Integrator 5.2.4 以上)	<p>IBM JDK 1.6.0 SR9 FP2 (64 ビット) ビルド pxz6460sr9fp2-20110625_01(SR9 FP2) (Sterling B2B Integrator 5.2.4 のみ)</p> <p>IBM JDK 1.6.0 SR9 FP2 (64 ビット) ビルド pxz6460sr9fp2-20110625_01(SR9 FP2) 以上でバージョン 1.6.0 SRx FPx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 のみ)</p> <p>IBM JDK 1.6.0 (64 ビット) ビルド pxz6460sr14-20130705_01(SR14) 以上でバージョン 1.6.0 SRx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)</p> <p>IBM JDK 1.7.0 (64 ビット) ビルド pxz6470sr5-20130619_01(SR5) 以上でバージョン 1.7.0 SRx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)</p> <p>IBM JDK 1.7.0 (64 ビット) ビルド pxz6470sr7fp1-20140708_01(SR7 FP1) 以上でバージョン 1.7.0 SRx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上)</p> <p>JDK は、RHEL の GA リリース時に IBM によって認定されました。現在のパッチ・レベルに RHEL のパッチを適用することを推奨します。</p> <p>最小カーネル・バージョン: 2.6.18-164.2.1.el5</p> <p>最小 glibc バージョン: 2.5-42</p>	サポート されない	「はい (Yes)」

オペレーティング・システム	JDK 要件	32 ビット OS	64 ビット OS
Red Hat Enterprise Linux for IBM System z 6.1 以上 (Sterling B2B Integrator 5.2.4 以上)	<p>IBM JDK 1.6.0 SR9 FP2 (64 ビット) ビルド pxz6460sr9fp2-20110625_01(SR9 FP2) (Sterling B2B Integrator 5.2.4 のみ)</p> <p>IBM JDK 1.6.0 SR9 FP2 (64 ビット) ビルド pxz6460sr9fp2-20110625_01(SR9 FP2) 以上でバージョン 1.6.0 SRx FPx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 のみ)</p> <p>IBM JDK 1.6.0 (64 ビット) ビルド pxz6460sr14-20130705_01(SR14) 以上でバージョン 1.6.0 SRx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)</p> <p>IBM JDK 1.7.0 (64 ビット) ビルド pxz6470sr5-20130619_01(SR5) 以上でバージョン 1.7.0 SRx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)</p> <p>IBM JDK 1.7.0 (64 ビット) ビルド pxz6470sr7fp1-20140708_01(SR7 FP1) 以上でバージョン 1.7.0 SRx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上)</p> <p>JDK は、RHEL の GA リリース時に IBM によって認定されました。現在のパッチ・レベルに RHEL のパッチを適用することを推奨します。</p> <p>最小カーネル・バージョン: 2.6.18-164.2.1.el5 以上でバージョン 2.x 以下</p> <p>最小 glibc バージョン: 2.5-42</p>	サポート されない	あり

オペレーティング・システム	JDK 要件	32 ビット OS	64 ビット OS
SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 10 (x64/x86 64 ビット・カーネルのみ)	IBM JDK 1.6.0 SR8 FP1 (64 ビット) ビルド pxa6460sr8fp1-20100624_01(SR8 FP1) (Sterling B2B Integrator 5.2.0 から 5.2.4) 注: セキュリティー・アップデーター・ツール - IZ94423_FIX_1.jar を実行する必要があります。	サポートされない	「はい (Yes)」
SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 11 (x64/x86 64 ビット・カーネルのみ)	IBM JDK 1.6.0 SR8 FP1 (64 ビット) ビルド pxa6460sr8fp1-20100624_01(SR8 FP1) 以上でバージョン 1.6.0 SRx FPx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 のみ) 注: セキュリティー・アップデーター・ツール - IZ94423_FIX_1.jar を実行する必要があります。		
	IBM JDK 1.6.0 (64 ビット) ビルド pxa6460sr14-20130705_01(SR14) 以上でバージョン 1.6.0 SRx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)		
	IBM JDK 1.7.0 (64 ビット) ビルド pxa6470sr5-20130619_01(SR5) 以上でバージョン 1.7.0 SRx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)		
	IBM JDK 1.7.0 (64 ビット) ビルド pxa6470sr7fp1-20140708_01(SR7 FP1) 以上でバージョン 1.7.0 SRx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上)		
	JDK は、SLES 1x の GA リリース時に IBM によって認定されました。現在のパッチ・レベルに SLES のパッチを適用することを推奨します。		
	最小カーネル・バージョン: 2.6.16.60-0.42.5-smp 以上でバージョン 2.x 以下		
	最小 glibc バージョン: 2.4-31.61		



オペレーティング・システム	JDK 要件	32 ビット OS	64 ビット OS
SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 11 System z (Sterling B2B Integrator 5.2.4 以上)	<p>IBM JDK 1.6.0 SR9 FP2 (64 ビット) ビルド pxz6460sr9fp2-20110625_01(SR9 FP2) (Sterling B2B Integrator 5.2.4 のみ)</p> <p>IBM JDK 1.6.0 SR9 FP2 (64 ビット) ビルド pxz6460sr9fp2-20110625_01(SR9 FP2) 以上でバージョン 1.6.0 SRx FPx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 のみ)</p> <p>IBM JDK 1.6.0 (64 ビット) ビルド pxz6460sr14-20130705_01(SR14) 以上でバージョン 1.6.0 SRx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)</p> <p>IBM JDK 1.7.0 (64 ビット) ビルド pxz6470sr5-20130619_01(SR5) 以上でバージョン 1.7.0 SRx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)</p> <p>IBM JDK 1.7.0 (64 ビット) ビルド pxz6470sr7fp1-20140708_01(SR7 FP1) 以上でバージョン 1.7.0 SRx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上)</p> <p>JDK は、SLES 11 の GA リリース時に IBM によって認定されました。現在のパッチ・レベルに SLES のパッチを適用することを推奨します。</p> <p>最小カーネル・バージョン: 2.6.18-164.2.1.el5 以上でバージョン 2.x 以下</p> <p>最小 glibc バージョン: 2.5-42</p>	サポートされない	「はい (Yes)」

## Solaris のパッチおよび JDK のダウンロード

最初に Oracle および Sterling B2B Integrator のシステム要件を最初に参照し、ご使用のインストール済み環境用の正しい Solaris ファイルにアクセスして、正しいファイルをダウンロードします。

### このタスクについて

**重要:** この手順の JDK の部分は、Sterling B2B Integrator リリース 5.2.4.1 以前のものに適用されます。リリース 5.2.4.2 用の Solaris JDK をダウンロードするには、そのリリース用のリリース・ノートを参照してください。

### 手順

1. 以下の手順に従って、Solaris のパッチ・ファイルをダウンロードします。
  - a. Web サイト <https://support.oracle.com/epmos/faces/PatchHome> にアクセスします。

- b. 提供されている説明に従い、ご使用の Oracle サポート・アカウント・ログインを使用してサインインします。
  - c. ご使用の Solaris バージョンに適したパッチをダウンロードします。
2. 以下の手順に従って、JDK ファイルをダウンロードします (5.2.4.1 以前)。
    - a. ご使用のインストール済み環境に必要な JDK を判別します。 14 ページの『UNIX/Linux JDK 要件』を参照してください。
    - b. Web サイト <http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/downloads/index.html> にアクセスします。
    - c. 「**Previous Releases - Java Archive**」セクションで、「**Download**」をクリックします。
    - d. 「**Java SE 6**」をクリックします。
    - e. 必要なバージョン用の「**Java SE Development Kit**」リンクをクリックします。例えば、Oracle JDK 1.6.0\_24 の場合、「**Java SE Development Kit 6u24**」をクリックします。
    - f. 「**Accept License Agreement (ご使用条件への同意)**」をクリックします。
    - g. ご使用の Solaris のバージョン用の .sh ファイルのリンクをクリックして、ダウンロードを開始します。例えば、Oracle Solaris 9 (SPARC のみ) オペレーティング・システムの場合、「jdk-6u24-solaris-sparcv9.sh」をクリックします。

## AIX JDK のダウンロード (5.2.4.1 以前)

最初にシステム要件を参照して、ご使用のインストール済み環境用の正しい AIX JDK にアクセスして、正しい JDK をダウンロードします。

### このタスクについて

**重要:** この手順は、Sterling B2B Integrator リリース 5.2.4.1 以前のみ適用されます。リリース 5.2.4.2 用の AIX JDK をダウンロードするには、そのリリース用のリリース・ノートを参照してください。

### 手順

1. ご使用のインストール済み環境に必要な JDK を判別します。 14 ページの『UNIX/Linux JDK 要件』を参照してください。
2. AIX のメインのダウンロード Web ページ (<http://www.ibm.com/developerworks/java/jdk/aix/service.html>) を開きます。
3. 「**Java SE Version 6**」セクションをクリックし、開きます。
4. 64 ビット・プラットフォーム用の「**Download now**」をクリックします。
5. 以下の情報を入力し、「**I confirm**」をクリックします。
  - Business contact information
  - Privacy
  - License
6. 「Downloads」ページで、「**64-bit Java 6 SDK GA base images (at 6.0.0.1 level; in installp format)**」をクリックします。
7. 「**Download now**」をクリックして、「**Base SDK (required)**」パッケージをダウンロードします。

8. AIX のメインのダウンロード・ページ (<http://www.ibm.com/developerworks/java/jdk/aix/service.html>) に戻り、GA インストール済み環境にパッチを適用して SR8 FP1 にアップグレードします。
9. 「**Java SE Version 6**」 セクションをクリックし、開きます。
10. 64 ビット・プラットフォーム用の「**Fix Info**」をクリックします。
11. 「**Service Refresh**」列の下の「**SR8FP1**」をクリックします。
12. 「Download options」ページで、「**Download using your browser (HTTP)**」を選択します。
13. ドロップダウン・リストから、ご使用の AIX オペレーティング・システム・レベルを選択します。
14. 「**Continue**」をクリックします。
15. 「**Java6\_64.sdk.6.0.0.215.bff (141.2 MB)**」をクリックして、パッチ・ファイルをダウンロードします。
16. ステップ 6 (28 ページ) でダウンロードしたベース JDK をインストールします。
17. ステップ 15 でダウンロードした JDK パッチ・ファイルをインストールします。
18. ベース JDK とパッチ・ファイルをインストールした後、以下のコマンドを実行して、Java™ のバージョンを確認します。

```
/usr/java6_64/bin/java -version
```

バージョン出力に、「(SR8 FP1)」と表示されている必要があります。

19. Oracle のセキュリティー警告 CVE-2010-4476 に対応するために、以下の手順に従って、浮動小数点フィックス・ユーティリティー・ツールを適用します。
  - a. Web サイト <ftp://ftp.software.ibm.com/software/java/support/tools/updateinstaller/UpdateInstallerforJava.zip> から IBM Update Installer ユーティリティーをダウンロードします。 Oracle セキュリティー警告 CVE-2010-4476 に対応するための、浮動小数点フィックス・ユーティリティーの適用について詳しくは、<http://www.ibm.com/developerworks/java/jdk/alerts/cve-2010-4476.html>を参照してください。
  - b. Web サイト <ftp://ftp.software.ibm.com/software/java/support/tools/updateinstaller/UpdateInstallerforJava.zip> から IBM Update Installer ユーティリティーをダウンロードします。
  - c. AIX 上の Java 6 用のパッチ・ファイルを Web サイト [ftp://ftp.software.ibm.com/software/java/support/tools/updateinstaller/IZ94423\\_FIX\\_1.jar](ftp://ftp.software.ibm.com/software/java/support/tools/updateinstaller/IZ94423_FIX_1.jar) からダウンロードします。
  - d. Web サイト <ftp://ftp.software.ibm.com/software/java/support/tools/updateinstaller/ParseDoubleTest.jar> から、ご使用の JDK にパッチが適用されていることを確認するためのテスト・ユーティリティーをダウンロードします。
  - e. UpdateInstallerforJava.zip ファイルを抽出します。
  - f. 以下のコマンドを入力して、IBM Update Installer ユーティリティーを実行します。

```
/usr/java6_64/bin/java -jar /path/unzipped/JavaUpdateInstaller.jar -install /path/IZ94423_FIX_1.jar /usr/java6_64
```

- g. 以下のコマンドを入力して、パッチが適用されたことを確認します。

```
/usr/java6_64/bin/java -jar /path/ParseDoubleTest.jar
```

## AIX JDK のダウンロード (5.2.4.2 以降)

ご使用のリリース用のリリース・ノートを参照して、ご使用の Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以降のインストール済み環境用の正しい AIX JDK にアクセスします。

## Linux JDK のダウンロード (5.2.4.1 以前)

最初にシステム要件を参照し、ご使用のインストール済み環境用の正しい Linux JDK にアクセスして、正しい JDK をダウンロードします。

### このタスクについて

**重要:** この手順は、Sterling B2B Integrator リリース 5.2.4.1 以前のみ適用されます。リリース 5.2.4.2 用の Linux JDK をダウンロードするには、そのリリース用のリリース・ノートを参照してください。

### 手順

1. ご使用のインストール済み環境に必要な JDK を判別します。 14 ページの『UNIX/Linux JDK 要件』を参照してください。
2. IBM Linux JDK のダウンロード・ページ (Java 6) にアクセスします。
3. 適切な JDK を選択します。
4. 「**Continue**」をクリックします。
5. 「**Privacy**」、「**License**」、およびその他のセクションに情報を入力し、「**I confirm**」をクリックします。
6. 「Downloads」ページの「**SDK**」セクションで、いずれかの使用可能な方式を選択して SDK パッケージをダウンロードします。
7. (バージョン 6 SR8-FP1 のみ) Oracle セキュリティ警告 CVE-2010-4476 に対応するために、以下の手順に従って、浮動小数点フィックス・ユーティリティー・ツールを適用します。
  - a. IBM Update Installer ユーティリティーを Web サイト <ftp://ftp.software.ibm.com/software/java/support/tools/updateinstaller/UpdateInstallerforJava.zip> からダウンロードします。

Oracle セキュリティ警告 CVE-2010-4476 に対応するための、浮動小数点フィックス・ユーティリティーの適用について詳しくは、Web サイト <http://www.ibm.com/developerworks/java/jdk/alerts/cve-2010-4476.html> を参照してください。

- b. Java 6 用のパッチ・ファイルを Web サイト [ftp://ftp.software.ibm.com/software/java/support/tools/updateinstaller/IZ94423\\_FIX\\_1.jar](ftp://ftp.software.ibm.com/software/java/support/tools/updateinstaller/IZ94423_FIX_1.jar) からダウンロードします。
- c. Web サイト <ftp://ftp.software.ibm.com/software/java/support/tools/updateinstaller/ParseDoubleTest.jar> から、JDK にパッチが適用されていることを確認するためのテスト・ユーティリティーをダウンロードします。
- d. UpdateInstallerforJava.zip ファイルを抽出します。

- e. 以下のコマンドを入力して、IBM Update Installer ユーティリティーを実行します。

```
/path/ibm-java-x86_64-60/bin/java
-jar /path/to/unzipped/JavaUpdateInstaller.jar
-install /path/IZ94423_FIX_1.jar /path/ibm-java-x86_64-60
```

- f. 以下のコマンドを入力して、パッチが適用されたことを確認します。

```
/path/ibm-java-x86_64-60/bin/java -jar /path/ParseDoubleTest.jar
```

## Linux JDK のダウンロード (5.2.4.2 以降)

ご使用のリリース用のリリース・ノートを参照して、ご使用の Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以降のインストール済み環境用の正しい Linux JDK にアクセスします。

## HP-UX JDK のダウンロード (5.2.4.1 以前)

最初にシステム要件を参照し、ご使用のインストール済み環境用の正しい HP-UX JDK にアクセスして、正しい JDK をダウンロードします。

### このタスクについて

**重要:** この手順は、Sterling B2B Integrator リリース 5.2.4.1 以前のものに適用されます。リリース 5.2.4.2 用の HP-UX JDK をダウンロードするには、そのリリース用のリリース・ノートを参照してください。

### 手順

1. ご使用のインストール済み環境に必要な JDK を判別します。 14 ページの『UNIX/Linux JDK 要件』を参照してください。
2. HP-UX Java 6 のメインのダウンロード・ページ (JDK, JRE, and Plug-In 6.0.x Downloads and Documentation) にアクセスします。
3. 「**JDK/JRE 6.0.x Downloads**」セクションで、必要なバージョンのリンクをクリックします。
4. HP の Web サイトにサインインします。
5. 必要な JDK のバージョンを選択します。
6. フォームに入力し、「**Next**」をクリックします。
7. 選択したパッケージ用の「**Get Software**」をクリックします。
8. リストから各製品を選択し、製品ごとに「**Download Directly >>**」をクリックします。
9. プロセッサ固有のデポを、ご使用のシステムの /opt/java6 ディレクトリーにインストールします。
10. Oracle のセキュリティー警告 CVE-2010-4476 に対応するために、以下の手順に従って、浮動小数点フィックス・ユーティリティー・ツールを適用します。
  - a. Web サイト <https://h20392.www2.hp.com/portal/swdepot/try.do?productNumber=FPUPDATER> にアクセスします。

Oracle セキュリティー警告 CVE-2010-4476 に対応するための、浮動小数点フィックス・ユーティリティー・ツールの適用について詳しくは、FPUpdater Tool Download and Documentation を参照してください。

- b. フォームに入力し、必要な場合、HP Web サイトにサインインします。

- c. 「**Get Software**」をクリックします。
- d. 「**Download Directly >>**」をクリックします。
- e. fpupdater-1\_0.zip ファイルを抽出します。
- f. 以下のコマンドを入力して、JDK にパッチを適用します。  

```
/opt/java6/bin/java -jar /path/fpupdater/fpupdater.jar -u -v
```
- g. 以下のコマンドを入力して、パッチが適用されたことを確認します。  

```
/opt/java6/bin/java -jar /path/fpupdater/fpupdater.jar -t -v
```

## HP-UX JDK のダウンロード (5.2.4.2 以降)

ご使用のリリース用のリリース・ノートを参照して、ご使用の Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以降のインストール済み環境用の正しい HP-UX JDK にアクセスします。

---

## Windows 要件

Windows プラットフォームに Sterling B2B Integrator をインストールおよび実行するために必要な最小システム要件とその他の情報があります。

### Windows クライアント・システム

Windows クライアント・システムを使用して Sterling B2B Integrator をインストールおよび実行するために必要な最小システム要件があります。

Windows クライアント・システムの最小要件は以下のとおりです。

- CD-ROM ドライブ
- Pentium® または同等のプロセッサ
- 400 MHz プロセッサ速度
- カラー VGA または SVGA モニター
- サポートされているブラウザ。完全なリストについては、46 ページの『インターネット・ブラウザおよびプラグインの要件 (すべてのプラットフォーム)』を参照してください。
- 256 MB RAM (20,000 を上回るオブジェクトがあるマップとのクライアントのマッピングには 1 GB を推奨)
- 1 GB の空きディスク・スペース
- Adobe Reader 6.0 以上

### Windows Server ホスト・システム

Windows サーバー・ホスト・システムに Sterling B2B Integrator をインストールおよび実行するために必要な最小システム要件があります。

Windows Server ホスト・システムの最小要件は以下のとおりです。

- 4 GB RAM
- 15 GB の空きディスク・スペース
- Pentium III 1.3 GHz

- 最小システム要件を判別するには、データベース・サーバーの付属として受け取った文書を参照してください。

DB2 データベース (iSeries に組み込まれている) を除き、Sterling B2B Integrator とデータベースとは、異なるサーバー上で実行することをお勧めします。

- ファイル・システム・スペース。ファイル・システムに文書を保管するためのオプションを使用する場合に必要です。必要なスペースの量は、保管する文書のサイズと、ファイル・システム上に文書を保持するように選択する時間の長さに応じて異なります。
- 周辺サーバーの要件については、『*周辺サーバー要件 (UNIX/Linux および Windows)*』を参照してください。

## Windows JDK 要件

Windows プラットフォームに Sterling B2B Integrator をインストールするための JDK 最小要件があります。

2 つの OS (オペレーティング・システム) 列は、Windows ベンダーが 32 ビットまたは 64 ビットのオペレーティング・システムを提供するかどうかを示しています。

JDK には、複数のタイプのバージョン番号があります。例えば、JDK 6.0 と JDK 1.6.0 は両方とも、同じ JDK の名前です。「バージョン 6.0」は、マーケティング、資料、その他の書面での通信で使用されます。JDK をダウンロードする際には、Web ページ上で Java SE Development Kit 6xxx と示されます。「バージョン 1.6.0」は、ファイル名で使用されます。ダウンロードされる JDK ファイルでは、JDK の要件表に表示されるその名前が使用されます。

Windows JDK をダウンロードする際は、以下のガイドラインを使用してください。

- (Sterling B2B Integrator 5.2.0 から 5.2.4.1) すべての Oracle JDK のバージョンは、<http://www.oracle.com/technetwork/java/javasebusiness/downloads/java-archive-downloads-javase6-419409.html>からダウンロードします。
- (Sterling B2B Integrator 5.2.3) WebSphere Transformation Extender (WTX) と統合することを計画しており、IBM JDK が必要である場合は、IBM 顧客サポートで問題管理レポート (PMR) を開き、必要な IBM JDK を要求します。
- (Sterling B2B Integrator 5.2.4 以上) IBM JDK の各バージョンは Sterling B2B Integrator にバンドルされており、インストール・メディアの jdk ディレクトリから入手できます。
- (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以上) ご使用のリリース用のリリース・ノートを参照して、正しい JDK にアクセスします。

注: IBM JDK の使用は、Sterling B2B Integrator 5.2.3 以上を必要とし、WebSphere Transformation Extender (WTX) との統合に必要とされます。

Windows Server	JDK 要件	32 ビット OS	64 ビット OS
<p>Microsoft Windows Server 2003 Standard Edition または Enterprise Edition R2 SP2 (32 ビット) (Sterling B2B Integrator 5.2.4.0 から 5.2.4.2 のみ)</p>	<p>Oracle JDK 1.6.0_24 (32 ビット) (Sterling B2B Integrator 5.2.0 から 5.2.4)</p> <p>Oracle JDK 1.6.0_31 (32 ビット) 以上でバージョン 1.6.0_xx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 のみ)</p> <p>または</p> <p>IBM JDK 1.6.0 SR9 FP2 (32 ビット) ビルド pwi3260sr9fp2-20110625_01 (SR9 FP2) (Sterling B2B Integrator 5.2.3 から 5.2.4)</p> <p>IBM JDK 1.6.0 SR9 FP2 (32 ビット) ビルド pwi3260sr9fp2-20110625_01 (SR9 FP2) 以上でバージョン 1.6.0 SRxx FPxx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 のみ)</p> <p>IBM JDK 1.6.0 SR14 (32 ビット) 以上でバージョン 1.6.0 SRxx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)</p> <p>IBM JDK 1.7.0 SR05 (32 ビット) 以上でバージョン 1.7.0 SRxx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)</p>	<p>「はい (Yes)」</p>	<p>「いいえ (No)」</p>



Windows Server	JDK 要件	32 ビット OS	64 ビット OS
<p>Microsoft Windows Server 2008 Standard Edition または Enterprise Edition R2 (64 ビット)</p>	<p>Oracle JDK 1.6.0_24 (64 ビット) (Sterling B2B Integrator 5.2.0 から 5.2.4 のみ)</p> <p>Oracle JDK 1.6.0_31 (64 ビット) 以上でバージョン 1.6.0_xx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 のみ)</p> <p>または</p> <p>IBM JDK 1.6.0 SR9 FP2 (64 ビット) ビルド pwa6460sr9fp2-20110625_01 (SR9 FP2) (Sterling B2B Integrator 5.2.3 から 5.2.4 のみ)</p> <p>IBM JDK 1.6.0 SR9 FP2 (64 ビット) ビルド pwa6460sr9fp2-20110625_01 (SR9 FP2) 以上でバージョン 1.6.0 SRxx FPxx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 のみ)</p> <p>IBM JDK 1.6.0 SR14 (64 ビット) ビルド pwa6460sr14-20130705_01(SR14) 以上でバージョン 1.6.0 SRxx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)</p> <p>IBM JDK 1.7.0 SR05 (64 ビット) ビルド pwa6470sr5-20130619_01(SR5) 以上でバージョン 1.7.0 SRxx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ)</p> <p>IBM JDK 1.7.0 SR7 FP1 (64 ビット) ビルド pwa6470sr7fp1-20140712_01 (SR7 FP1) 以上でバージョン 1.7.0 SRxx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上)</p>	<p>「いいえ (No)」</p>	<p>「はい (Yes)」</p>
<p>Microsoft Windows Server 2012 Standard Edition R2 64 ビット、すべてのパッチまたはサービス・パックを含む (2015 年 4 月にリリースされた Sterling B2B Integrator V5.2.5 インストール・メディアを使用している、Sterling B2B Integrator V5.2.5 以上が必要です。)</p>	<p>IBM JDK 1.7.0 SR8 FP10 (64 ビット) ビルド pwa6470sr8fp10ifix-20150313_01 (SR8 FP10) 以上でバージョン 1.7.0 SRxx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上)</p>	<p>「いいえ (No)」</p>	<p>「はい (Yes)」</p>

---

## iSeries 要件

iSeries プラットフォームに Sterling B2B Integrator をインストールおよび実行するために必要な最小システム要件とその他の情報があります。

注: iSeries 上の Sterling B2B Integrator は IBM i に組み込まれている DB2 を使用します。

## iSeries ハードウェア

iSeries プラットフォームに Sterling B2B Integrator をインストールおよび実行するために必要な iSeries の最小ハードウェア要件があります。

これらのシステム要件は、システム上で実行する唯一のアプリケーションである Sterling B2B Integrator に基づいたものとなります。

- CPU - 1000 CPW (POWER5 以降のプロセッサを推奨)
- 4 GB メモリー (Sterling B2B Integrator に専用のプライベート (非共有) プール)
- 20 GB DASD (Sterling B2B Integrator の必要分に加え、オペレーティング・システム、スプール、ユーティリティなどのためのスペース)。
- ファイル・システム・スペースは、ファイル・システムに文書を保管するためのオプションを使用する場合に必要です。必要なスペースの量は、保管する文書のサイズと、ファイル・システム上に文書を保持するように選択する時間の長さに応じて異なります。

## iSeries ソフトウェア

iSeries プラットフォームに Sterling B2B Integrator をインストールし、実行するために必要な iSeries の最小ソフトウェア要件があります。

以下の表では、サポートされる iSeries プラットフォームの最小ソフトウェア要件をリストしています。

iSeries システム	iSeries ソフトウェア
<p>i5/OS V5R4</p> <p>(Sterling B2B Integrator 5.2.0 から 5.2.4.1 のみ)</p> <p>2013 年 12 月以降にリリースされた Sterling B2B Integrator 5.2.4 インストール・メディアを使用している新規のインストール済み環境は、IBM i V5R4 オペレーティング・システム上ではサポートされません。</p> <p>Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以上ではサポートされません。パッチによって 5.2.4.2 にアップグレードしたときには、ご使用の V5R4 オペレーティング・システムにもパッチを適用する必要があります。ただしその場合には、即座にご使用の iSeries を IBM i V6R1 または V7R1 にアップグレードするか、あるいは IBM i V6R1 または V7R1 を使用している iSeries に Sterling B2B Integrator インスタンスを物理的に移動してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 5722-SS1 i5/OS V5R4</li> <li>• 5722-SS1 オプション 30 Qshell Interpreter</li> <li>• 5722-SS1 オプション 33 PASE (Portable Application Solutions Environment)</li> <li>• 5722-SS1 オプション 43 追加フォント</li> <li>• 5722-TC1 TCP/IP 接続ユーティリティ</li> <li>• 5722-JV1 *BASE Developer Kit for Java</li> <li>• 5722-JV1 オプション 10 Java Developer Kit 6</li> <li>• 5722-XE1 *BASE IBM eServer iSeries Access for Windows</li> <li>• 5799-PTL IBM Tools for Developers for i5/OS</li> <li>• PTF グループ <ul style="list-style-type: none"> <li>- SF99540 (累積的 PTF パッケージ) レベル 11137</li> <li>- SF99539 (グループ・ハイパー) レベル 160</li> <li>- SF99504 (DB2 for IBM i) レベル 31</li> <li>- SF99291 (JAVA) レベル 27</li> </ul> </li> </ul>

iSeries システム	iSeries ソフトウェア
<p>IBM i V6R1</p> <p>(Sterling B2B Integrator 5.2.0 から 5.2.4.1 のみで、2013 年 12 月にリリースされた Sterling B2B Integrator 5.2.4 インストール・メディアを使用してインストールされたもの)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 5761-SS1 i5/OS V6R1</li> <li>• 5761-SS1 オプション 30 Qshell Interpreter</li> <li>• 5761-SS1 オプション 33 PASE (Portable Application Solutions Environment)</li> <li>• 5761-TC1 *BASE IBM TCP/IP Connectivity Utilities for i5/OS</li> <li>• 5761-JV1 *BASE IBM Developer Kit for Java</li> <li>• 5761-JV1 オプション 10 Java Developer Kit 6</li> <li>• 5722-XE1 *BASE IBM System I Access for Windows</li> <li>• 5799-PTL IBM Tools for Developers for i5/OS</li> <li>• PTF グループ <ul style="list-style-type: none"> <li>- SF99610 (累積的 PTF パッケージ) レベル 11102</li> <li>- SF99609 (グループ・ハイパー) レベル 97</li> <li>- SF99601 (DB2 for IBM i) レベル 20</li> <li>- SF99562 (JAVA) レベル 16</li> </ul> </li> </ul>
<p>IBM i V6R1</p> <p>(パッチによって 5.2.4.2 にアップグレードされた Sterling B2B Integrator のみ。2013 年 12 月以降にリリースされた Sterling B2B Integrator 5.2.4 インストール・メディアを使用している新規のインストール済み環境)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 5761-SS1 i5/OS V6R1</li> <li>• 5761-SS1 オプション 30 Qshell Interpreter</li> <li>• 5761-SS1 オプション 33 PASE (Portable Application Solutions Environment)</li> <li>• 5761-TC1 *BASE IBM TCP/IP Connectivity Utilities for i5/OS</li> <li>• 5761-JV1 *BASE IBM Developer Kit for Java</li> <li>• 5761-JV1 オプション 12 Java SE 6 64 ビット</li> <li>• 5722-XE1 *BASE IBM System I Access for Windows</li> <li>• 5799-PTL IBM Tools for Developers for i5/OS</li> <li>• PTF グループ <ul style="list-style-type: none"> <li>- SF99610 (累積的 PTF パッケージ) レベル 13058</li> <li>- SF99609 (グループ・ハイパー) レベル 155</li> <li>- SF99601 (DB2 for IBM i) レベル 29</li> <li>- SF99562 (JAVA) レベル 25</li> </ul> </li> </ul>

iSeries システム	iSeries ソフトウェア
<p>IBM i V7R1</p> <p>(Sterling B2B Integrator 5.2.3 から 5.2.4.1 のみで、2013 年 12 月にリリースされた Sterling B2B Integrator 5.2.4 インストール・メディアを使用してインストールされたもの)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 5770-SS1 IBM i V7R1</li> <li>• 5770-SS1 Option 30 Qshell</li> <li>• 5770-SS1 オプション 33 PASE (Portable Application Solutions Environment)</li> <li>• 5770-SS1 オプション 43 追加フォント</li> <li>• 5770-TC1 *BASE IBM TCP/IP Connectivity Utilities for i</li> <li>• 5761-JV1 *BASE IBM Developer Kit for Java</li> <li>• 5761-JV1 オプション 12 Java SE 6 64 ビット</li> <li>• 5770-XE1 *BASE IBM i Access for Windows</li> <li>• 5799-PTL IBM Tools for Developers for i5/OS</li> <li>• PTF グループ <ul style="list-style-type: none"> <li>– SF99710 (累積的 PTF パッケージ) レベル 11116</li> <li>– SF99709 (グループ・ハイパー) レベル 32</li> <li>– SF99701 (DB2 for IBM i) レベル 9</li> <li>– SF99572 (JAVA) レベル 5 (この PTF グループのレベル 7 を超えてはいけません。)</li> </ul> </li> </ul>
<p>IBM i V7R1</p> <p>(Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ。この中には、2013 年 12 月以降にリリースされた Sterling B2B Integrator 5.2.4 インストール・メディアを使用している新規のインストール済み環境が含まれます。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 5770-SS1 IBM i V7R1</li> <li>• 5770-SS1 Option 30 Qshell</li> <li>• 5770-SS1 オプション 33 PASE (Portable Application Solutions Environment)</li> <li>• 5770-SS1 オプション 43 追加フォント</li> <li>• 5770-TC1 *BASE IBM TCP/IP Connectivity Utilities for i</li> <li>• 5761-JV1 *BASE IBM Developer Kit for Java</li> <li>• 5761-JV1 オプション 12 Java SE 6 64 ビット (J9 JDK 1.6 を使用する場合)</li> <li>• 5761-JV1 オプション 15 Java SE 7 64 ビット (J9 JDK 1.7 を使用する場合)</li> <li>• 5770-XE1 *BASE IBM i Access for Windows</li> <li>• 5799-PTL IBM Tools for Developers for i5/OS</li> <li>• PTF グループ <ul style="list-style-type: none"> <li>– SF99710 (累積的 PTF パッケージ) レベル 13037</li> <li>– SF99709 (グループ・ハイパー) レベル 93</li> <li>– SF99701 (DB2 for IBM i) レベル 25</li> <li>– SF99572 (JAVA) レベル 14</li> </ul> </li> </ul>

iSeries システム	iSeries ソフトウェア
IBM i V7R1 (Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 5770-SS1 IBM i V7R1</li> <li>• 5770-SS1 Option 30 Qshell</li> <li>• 5770-SS1 オプション 33 PASE (Portable Application Solutions Environment)</li> <li>• 5770-SS1 オプション 43 追加フォント</li> <li>• 5770-TC1 *BASE IBM TCP/IP Connectivity Utilities for i</li> <li>• 5761-JV1 *BASE IBM Developer Kit for Java</li> <li>• 5761-JV1 オプション 15 Java SE 7 64 ビット (J9 JDK 1.7 を使用する場合)</li> <li>• 5770-XE1 *BASE IBM i Access for Windows</li> <li>• 5799-PTL IBM Tools for Developers for i5/OS</li> <li>• PTF グループ <ul style="list-style-type: none"> <li>– SF99710 (累積的 PTF パッケージ) レベル 14143</li> <li>– SF99709 (グループ・ハイパー) レベル 120</li> <li>– SF99701 (DB2 for IBM i) レベル 30</li> <li>– SF99572 (JAVA) レベル 18</li> </ul> </li> </ul>
IBM i V7R2 (Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 5770-SS1 IBM I V7R2</li> <li>• 5770-SS1 Option 30 Qshell</li> <li>• 5770-SS1 オプション 33 PASE (Portable Application Solutions Environment)</li> <li>• 5770-SS1 オプション 43 追加フォント</li> <li>• 5770-TC1 *BASE IBM TCP/IP Connectivity Utilities for i</li> <li>• 5770-JV1 *BASE IBM Developer Kit for Java</li> <li>• 5770-JV1 オプション 15 Java SE 7 64 ビット</li> <li>• 5770-XE1 *BASE IBM i Access for Windows</li> <li>• 5799-PTL IBM Tools for Developers for i5/OS</li> <li>• PTF グループ <ul style="list-style-type: none"> <li>– SF99720 (累積的 PTF パッケージ) レベル 14101</li> <li>– SF99719 (グループ・ハイパー) レベル 16</li> <li>– SF99702 (DB2 for IBM i) レベル 2</li> <li>– SF99716 (JAVA) レベル 3</li> </ul> </li> </ul>

## iSeries JDK 要件

iSeries プラットフォームに Sterling B2B Integrator をインストールするための JDK 最小要件があります。

注: iSeries JDK は、オペレーティング・システムに組み込まれています。JDK を Web サイトからダウンロードする必要はありません。JDK の更新は、オペレーティング・システムの更新により行うことができます。

オペレーティング・システム	JDK 要件
<p>i5/OS V5R4 (Sterling B2B Integrator 5.2.0 から 5.2.4.1 のみ)</p> <p>2013 年 12 月以降にリリースされた Sterling B2B Integrator 5.2.4 インストール・メディアを使用している新規のインストール済み環境は、IBM i V5R4 オペレーティング・システム上ではサポートされません。</p> <p>Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以上ではサポートされません。パッチによって 5.2.4.2 にアップグレードしたときには、ご使用の V5R4 オペレーティング・システムにもパッチを適用する必要があります。ただしその場合には、即座にご使用の iSeries を IBM i V6R1 または V7R1 にアップグレードするか、あるいは IBM i V6R1 または V7R1 を使用している iSeries に Sterling B2B Integrator インスタンスを物理的に移動してください。</p>	<p>Java(TM) 2 Runtime Environment, Standard Edition (ビルド 1.6.0_11-b03) Classic VM (ビルド 1.6、ビルド JDK-1.6、ネイティブ・スレッド、jitc_de) (Sterling B2B Integrator 5.2.0 から 5.2.4)</p> <p>Java(TM) 2 Runtime Environment, Standard Edition (ビルド 1.6.0_11-b03 以上でバージョン 1.6.0 SRxx FPxx 以下) Classic VM (ビルド 1.6、ビルド JDK-1.6、ネイティブ・スレッド、jitc_de) (Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 のみ)</p> <p>詳しくは、『iSeries ソフトウェア』で i5/OS V5R4 を参照してください。</p>

オペレーティング・システム	<b>JDK 要件</b>
<p>IBM i - V6R1</p> <p>(Sterling B2B Integrator 5.2.0 から 5.2.4.1 のみで、2013 年 12 月にリリースされた Sterling B2B Integrator 5.2.4 インストール・メディアより前にリリースされた Sterling B2B Integrator インストール・メディアを使用してインストールされた場合)</p>	<p>Java(TM) 2 Runtime Environment, Standard Edition (ビルド 1.6.0_11-b03) Classic VM (ビルド 1.6、ビルド JDK-1.6、ネイティブ・スレッド、jitc) (Sterling B2B Integrator 5.2.0 から 5.2.4)</p> <p>Java(TM) 2 Runtime Environment, Standard Edition (ビルド 1.6.0_11-b03 以上でバージョン 1.6.0 SRxx FPxx 以下) Classic VM (ビルド 1.6、ビルド JDK-1.6、ネイティブ・スレッド、jitc) (Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 のみ)</p> <p>詳しくは、『iSeries ソフトウェア』で IBM i - V6R1 を参照してください。</p>
<p>IBM i - V6R1</p> <p>(パッチによって 5.2.4.2 にアップグレードされた Sterling B2B Integrator のみ。2013 年 12 月以降にリリースされた Sterling B2B Integrator 5.2.4 インストール・メディアを使用している新規のインストール済み環境)</p>	<p><b>J9 JDK 1.6</b></p> <pre>java version "1.6.0" Java(TM) SE Runtime Environment (build pap6460sr14-20130705_01(SR14)) IBM J9 VM (build 2.4, JRE 1.6.0 IBM J9 2.4 OS/400 ppc64-64 jvmap6460sr14-2013 0705_01 (JIT enabled, AOT enabled) J9VM - 20130704_155156 JIT - r9_20130517_38390 GC - GA24_Java6_SR14_20130704_1138_B155156) JCL - 20130618_01</pre> <p>詳しくは、『iSeries ソフトウェア』で IBM i - V6R1 を参照してください。</p>
<p>IBM i - V7R1</p> <p>(Sterling B2B Integrator 5.2.3 から 5.2.4.1 のみで、2013 年 12 月にリリースされた Sterling B2B Integrator 5.2.4 インストール・メディアより前にリリースされた Sterling B2B Integrator インストール・ファイルを使用してインストールされたもの)</p>	<p>Java(TM) SE Runtime Environment (ビルド 1.6.0 SR9) (Sterling B2B Integrator 5.2.0 から 5.2.4)</p> <p>Java(TM) SE Runtime Environment (ビルド 1.6.0 SR9 以上でバージョン 1.6.0 SRxx FPxx 以下) (Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 以上)</p> <p><b>J9 JDK 1.6</b></p> <pre>java version "1.6.0" IBM J9 VM (build 2.4, JRE 1.6.0 IBM J9 2.4 OS/400 ppc64-64 jvmap6460sr9-20101 130 (JIT 対応、AOT 対応) J9VM - 20101124_069295 JIT - r9_20101028_17488ifx2 GC - 20101027_AA) JCL - 20101119_01</pre> <p>詳しくは、『iSeries ソフトウェア』で IBM i - V7R1 を参照してください。</p>



オペレーティング・システム	JDK 要件
IBM i - V7R1  (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 のみ。この中には、2013年12月以降にリリースされた Sterling B2B Integrator 5.2.4 インストール・メディアを使用している新規のインストール済み環境が含まれます。)	<p>J9 JDK 1.6 または J9 JDK 1.7 を使用</p> <p><b>J9 JDK 1.6</b></p> <pre>java version "1.6.0" Java(TM) SE Runtime Environment (build pap6460sr14-20130705_01(SR14)) IBM J9 VM (build 2.4, JRE 1.6.0 IBM J9 2.4 OS/400 ppc64-64 jvmap6460sr14-2013 0705_01 (JIT enabled, AOT enabled) J9VM - 20130704_155156 JIT - r9_20130517_38390 GC - GA24_Java6_SR14_20130704_1138_B155156) JCL - 20130618_01</pre> <p><b>J9 JDK 1.7</b></p> <pre>java version "1.7.0" Java(TM) SE Runtime Environment (build pap6470sr5-20130619_01(SR5)) IBM J9 VM (build 2.6, JRE 1.7.0 OS/400 ppc64-64 Compressed References jvmap64 70sr5-20130619_01_cr (JIT enabled, AOT enabled) J9VM - R26_Java726_SR5_20130617_1436_B152572 JIT - r11.b04_20130528_38954ifx1 GC - R26_Java726_SR5_20130617_1436_B152572_CMPRSS J9CL - 20130617_152572) JCL - 20130616_01 based on Oracle 7u25-b12</pre> <p>詳しくは、『iSeries ソフトウェア』で IBM i - V7R1 を参照してください。</p>
IBM i - V7R1  (Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上)	<p><b>J9 JDK 1.7</b></p> <p>J9 JDK 1.7</p> <pre>java version "1.7.0" Java(TM) SE Runtime Environment (build pap6470sr7fp1-20140708_01(SR7 FP1)) IBM J9 VM (build 2.6, JRE 1.7.0 OS/400 ppc64-64 Compressed References jvmap64 70sr7fp1-20140708_01_cr (JIT enabled, AOT enabled) J9VM - R26_Java726_SR7_20140627_0924_B204598 JIT - r11.b06_20140409_61252.04 GC - R26_Java726_SR7_20140627_0924_B204598_CMPRSS J9CL - 20140627_204598) JCL - 20140707_01 based on Oracle 7u65-b16</pre> <p>詳しくは、『iSeries ソフトウェア』で IBM i - V7R1 を参照してください。</p>

オペレーティング・システム	<b>JDK 要件</b>
IBM i - V7R2 (Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上)	<b>J9 JDK 1.7</b> J9 JDK 1.7 java version "1.7.0" Java(TM) SE Runtime Environment (build pap6470sr7fp1-20140708_01(SR7 FP1)) IBM J9 VM (build 2.6, JRE 1.7.0 OS/400 ppc64-64 Compressed References jvmap64 70sr7fp1-20140708_01_cr (JIT enabled, AOT enabled) J9VM - R26_Java726_SR7_20140627_0924_B204598 JIT - r11.b06_20140409_61252.04 GC - R26_Java726_SR7_20140627_0924_B204598_CMPRSS J9CL - 20140627_204598) JCL - 20140707_01 based on Oracle 7u65-b16  詳しくは、『iSeries ソフトウェア』の IBM i - V7R2 を参照してください。

## JCE 要件 (すべてのプラットフォーム)

以下の表では、Sterling B2B Integrator がサポートするすべてのプラットフォームの JCE 要件をリストしています。

オペレーティング・システム	JDK	JCE
UNIX/Linux	Oracle (Sun)	JDK 1.6 の場合 - jce_policy-6.zip (Oracle/Sun)
	IBM	unrestricted.zip (IBM)
	Hybrid IBM	
	IBM AIX	
	HP-UX	JDK 1.6 の場合 - jce_policy-6.zip (Oracle/Sun)
Windows	すべて	JDK 1.6 の場合 - jce_policy-6.zip (Oracle/Sun)  または  (Sterling B2B Integrator 5.2.3 以上のみ) unrestricted.zip (IBM) - (WebSphere Transformation Extender (WTX) との統合に 必要)
iSeries	すべて	unrestricted.zip (IBM)

---

## JDBC ドライバー要件 (すべてのデータベース)

Sterling B2B Integrator によってサポートされているすべてのデータベースでは、ご使用のデータベースおよびバージョンに対してデータベース・ベンダーが推奨する JDBC ドライバーを使用します。

**重要:** DB2 データベースまたは Microsoft SQL Server データベースで Lightweight JDBC Adapter を使用している場合は、4.0 バージョンの JDBC ドライバーを使用する必要があります。

- Oracle の場合:
    - (バージョン 11g) 詳しくは、<http://www.oracle.com/technetwork/database/features/jdbc/index-091264.html> を参照してください。
    - (バージョン 12c) Oracle 12.1.0.2.0 JDBC 4.1 以上で 12.x.x.x.x 以下。詳しくは、<http://www.oracle.com/technetwork/database/features/jdbc/index-091264.html> を参照してください。
  - Microsoft SQL Server の場合:
    - Microsoft SQL Server 2005 または 2008 では、SQL Server JDBC ドライバー 3.0 を使用してください。
    - Microsoft SQL Server 2012 では、SQL Server JDBC ドライバー 4.0 を使用してください。
    - Microsoft SQL Server のバージョンに関係なく、Lightweight JDBC Adapter を使用している場合は、SQL Server JDBC ドライバー 4.0 を使用してください。
- ドライバーを取得するには、Microsoft Download Center (<http://www.microsoft.com/en-us/download/default.aspx>) にアクセスし、SQL Server JDBC ドライバーの必要なバージョンを検索してください。
- DB2 の場合、詳しくは、<http://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg21363866> を参照してください。
  - MySQL の場合、詳しくは、<http://dev.mysql.com/downloads/connector/j/> を参照してください。

---

## 周辺サーバー要件 (UNIX/Linux および Windows)

UNIX/Linux または Windows Server 環境では、周辺サーバーをインストールおよび実行できます。

- 周辺サーバーは、Sterling B2B Integrator のインストールと共存させることも、リモート・サーバー上にインストールすることもできます。周辺サーバーのセキュリティ機能を十分に活用するには、それを Sterling B2B Integrator がインストールされているものとは異なるコンピューター上にインストールする必要があります。
- 周辺サーバーは、Sterling B2B Integrator と同じオペレーティング・システムと JDK の組み合わせでサポートされます。周辺サーバーが使用するオペレーティング・システムと JDK のバージョンは、Sterling B2B Integrator のオペレーティング・システムと JDK のバージョンと一致する必要はありません。

- 周辺サーバーをインストールするオペレーティング・システム用の JDK の説明を参照してください。

さらに、それぞれの周辺サーバーは、以下の最小スペース要件とメモリー要件を必要とします。

- 100 MB のディスク・スペース
- 1 GB のメモリー

## インターネット・ブラウザおよびプラグインの要件 (すべてのプラットフォーム)

このトピックでは、インターネット・ブラウザとプラグインの要件を扱っています。インターネット・ブラウザと Java プラグインの要件は、以下の表に示すとおりです。

インターネット・ブラウザ	オペレーティング・システム	JRE
Microsoft Internet Explorer 7.x または 8.x <b>メモ:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 別々のタブ、またはセッション Cookie を共有する複数のブラウザで、同じサーバーにインストールされている複数の Sterling B2B Integrator ホストを開く場合、先行するセッションはブラウザ・ウィンドウによりタイムアウトになります。Sterling B2B Integrator ホストは必ず新規セッションで開くようにしてください。これはセッション Cookie を共有しません。</li> <li>• Windows オペレーティング・システムのすべてのバージョンで、Windows Internet Explorer 8 を実行している場合、AFT ログイン画面では右側に背景イメージの一部が表示されますが、これは機能には影響ありません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Windows Server 2003</li> <li>• Windows Server 2008</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Java プラグイン 1.6.0 (5.2.4.2 以下)</li> <li>• Java プラグイン 1.7.0 (5.2.4.2 以上)</li> </ul>
Microsoft Internet Explorer 11 (Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Windows 8.1 Enterprise 64 ビット</li> </ul>	
Mozilla Firefox ESR 17	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Windows Server 2003</li> <li>• Windows Server 2008</li> </ul>	

**注:** アプリケーション・コンソールでメニュー・オプションの可視性を向上させるには、dpi 設定を 96 dpi にしてください。

## Map Editor および Graphical Process Modeler System の要件

Map Editor および Graphical Process Modeler は、Windows クライアント・システム上で正常に動作するために、最低でも以下に示すようなレベルのハードウェアとソフトウェアを必要とします。

## ハードウェア要件

- Pentium または同等のプロセッサ
- 400 MHz プロセッサ速度
- カラー VGA または SVGA モニター
- 256 MB RAM (20,000 を上回るオブジェクトがあるマップとのクライアントのマッピングには 1 GB を推奨)
- 1 GB の空きディスク・スペース

## ソフトウェア要件

クライアント Windows システムには、以下のオペレーティング・システムのいずれかが必要です。

- Windows 8.1 (Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上)
- Windows 7
- Windows XP (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以下)
- Windows Server 2003 Standard Edition (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以下)
- Windows Server 2003 Enterprise Edition (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以下)
- Windows Server 2008 Standard Edition
- Windows Server 2008 Enterprise Edition

クライアント Windows システムには、以下の JDK バージョンのいずれかが必要です。

- Windows プラットフォーム上の Sterling B2B Integrator 用にサポートされている 32 ビット JDK バージョンのいずれかの使用。サポートされているバージョンについては、33 ページの『Windows JDK 要件』を参照してください。(Sterling B2B Integrator 5.2.0 から 5.2.4.1)
- Oracle JDK 1.7.0\_45 (32 ビット) 以上で 1.7.0\_xx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以上)
- IBM JDK 1.7.0 SR05 (32 ビット) 以上でバージョン 1.7.0 SRxx 以下 (Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以上)

注: Map Editor でリモート・マップ・テスト機能を使用するには、32 ビットと 64 ビットのどちらのオペレーティング・システムでも、Oracle または IBM の 32 ビット Java Runtime Environment が必要です。

注: Map Editor を使用してソース・マップを XML ファイル (.mxl ファイル拡張子) として保存するには、Map Editor と同じコンピューター上に Microsoft XML Core Services (MSXML) 4.0 をインストールしておく必要があります。Microsoft XML Core Services (MSXML) 4.0 がインストールされていない場合、ソース・マップは .mxl ファイルとして保存できず、.map 拡張子を使用する必要があります。

---

## SWIFTNet7 アダプター要件

SWIFTNet7 アダプターは、SWIFTNet ネットワークと、SWIFTNet MEFG Servers for SWIFTNet バージョン 7 を介して通信します。これはリモートの SWIFTNet の通信相手によって送信される InterAct および FileAct メッセージに応答し、それを受け入れます。SWIFTNet7 アダプターは、IBM Sterling B2B Integrator 5.2.2 以上を必要とし、プラットフォームに対するいくつかの更新を必要とします。

### Oracle Solaris プラットフォーム

Oracle Solaris プラットフォーム上で SWIFTNet7 アダプターを使用する場合、5.2.2 のアダプター更新を受け取るには、ご使用の Solaris オペレーティング・システムに Oracle Solaris 10 10/09 以上でパッチを適用する必要があります。

SSL を使用している場合には、0.9.8y OpenSSL ライブラリーまたは 1.0.1e OpenSSL ライブラリーへのアップグレードも必要です。

- Oracle SUN OS の場合、ダウンロードは Oracle (<https://support.oracle.com/>) から入手可能です。
- OpenSSL の場合、ダウンロードは OpenSSL (<http://www.openssl.org>) から入手可能です。

### IBM AIX プラットフォーム

IBM AIX プラットフォーム上で SWIFTNet7 アダプターを使用する場合、5.2.2 のアダプター更新を受け取るには、ご使用の IBM XL C/C++ ランタイム・ライブラリーに、2009 年 7 月版の Runtime for IBM XL C++ for AIX のパッチを適用する必要があります。さらに、ご使用の AIX オペレーティング・システムをバージョン 10.1 (またはそれ以上) にアップグレードする必要があります。

SSL を使用している場合には、0.9.8y OpenSSL ライブラリーまたは 1.0.1e OpenSSL ライブラリーへのアップグレードも必要です。

- OpenSSL の場合、ダウンロードは OpenSSL (<http://www.openssl.org>) から入手可能です。
- IBM AIX の場合、ダウンロードは IBM (<http://www-306.ibm.com/software/support/>) から入手可能です。

### Windows プラットフォーム

Windows プラットフォーム上で SWIFTNet7 アダプターを使用する場合、5.2.2 のアダプター更新を受け取るには、Windows オペレーティング・システムを Windows Server 2008 R2 (すべてのセキュリティ・パッチを適用済み) にアップグレードする必要があります。また、Windows Server 2003 のすべてのサポートされているバージョンでもサポートされます。

SSL を使用している場合には、0.9.8y OpenSSL ライブラリーまたは 1.0.1e OpenSSL ライブラリーへのアップグレードも必要です。

- OpenSSL の場合、ダウンロードは OpenSSL (<http://www.openssl.org>) から入手可能です。
- Windows の場合、ダウンロードは Microsoft® (Windows Server 2008 R2 and Windows Server 2008) から入手可能です。

## Red Hat Enterprise Linux プラットフォーム

Red Hat Enterprise Linux プラットフォーム上で SWIFTNet7 アダプターを使用するには、Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以上および以下のいずれかを使用している必要があります。

- Red Hat Enterprise Linux リリース 5.7 (x64/x86 64 ビット・カーネルのみ)、5.x 以下のすべてのパッチを含む。
- Red Hat Enterprise Linux Server リリース 6.1 以上 x64、64 ビット・カーネル、6.x 以下のすべてのパッチを含む。サポートされるカーネル・バージョン: 2.6.18-164.2.1.el5 以上でバージョン 2.x 以下。

SWIFT Remote API v7.0 for Linux は、MEFG をインストールする前にインストールしてください。

SSL を使用している場合には、OpenSSL ライブラリーをバージョン 0.9.8y または 1.0.1e あるいは、Red Hat から入手可能な最新バージョンにアップグレードする必要があります。

•

Red Hat Enterprise Linux の場合、必要なダウンロードはすべて RedHat (<http://www.redhat.com/products/enterprise-linux/>) から入手可能です。

•

SWIFT Remote API v7.0 for Linux のダウンロードは SWIFT (<http://www.swift.com>) から入手可能です。

•

OpenSSL の場合、ダウンロードは RedHat (<http://www.redhat.com>) から入手可能です。

---

## サポートされるサード・パーティー・ソフトウェア

以下の表では、サポート対象のサード・パーティー・ソフトウェアとして Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 以下にバンドルされているものをリストしています。

ソフトウェア	バージョン (Version)
XSL Transformation	バージョン 1.0、Apache Xalan-Java バージョン 2.7.0 付き
XML パス言語	バージョン 1.0、Apache Xalan-Java バージョン 2.7.0 付き

このソフトウェアは、Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以上には含まれていません。

## 変更履歴

以下の表に、特定の日付にこのドキュメントに対して行われた変更をリストします。

日付	変更
04/21/2015	UNIX/Linux JDK 要件を改訂しました。IBM JDK 1.7 は AIX 5.3 ではサポートされません。
04/15/2015	Microsoft SQL Server に対する JDBC 要件を改訂しました。
Sterling B2B Integrator 5.2.5 メディア・リフレッシュ - 2015 年 4 月	以下の項目のサポートが追加されました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Sterling B2B Integrator 5.2.5 以上における Microsoft Internet Explorer 11 (クライアント・オペレーティング・システムとして Windows 8.1 Enterprise 64 ビットが必要)。</li> <li>• Sterling B2B Integrator 5.2.5.0 iFix 3 以上における Windows Server 2012 Standard Edition R2 64 ビット。</li> </ul>
Sterling B2B Integrator 5.2.5 リリース	以下の項目のサポートが追加されました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• SQL Server 2012 データベース</li> <li>• DB2 10.5 データベース</li> <li>• iSeries V7R2 オペレーティング・システム</li> </ul> <p>Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 でサポートされている以下の項目のサポートが削除されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• JDK 6</li> <li>• Windows 2003 オペレーティング・システム</li> <li>• iSeries V5R4 オペレーティング・システム</li> <li>• iSeries V6R1 オペレーティング・システム</li> <li>• HP-UX 11.23 PA-RISC オペレーティング・システム</li> <li>• HP-UX 11.31 PA-RISC オペレーティング・システム</li> <li>• SQL Server 2005 データベース</li> <li>• DB2 Database for iSeries V5R4</li> <li>• DB2 Database for iSeries V6R1</li> </ul>
04/09/2014	Oracle RAC 11g R2 での SCAN のサポートを追加。
03/03/2014	DB2 pureScale は、Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以上でサポートされるようになりました。
Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 リリース	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以上での Oracle Solaris 11 (SPARC のみ) のサポートを追加。</li> <li>• RedHat Enterprise Linux 上の Sterling B2B Integrator で SWIFTNet7 アダプターを使用するための要件を追加。</li> <li>• Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以上に対する IBM i Platform および Database の要件を更新。</li> <li>• Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以上に対するすべての JDK の要件を更新 (JDK 1.7 のサポートを含む)。</li> <li>• Sterling B2B Integrator 5.2.4.2 以上で Map Editor を使用するための要件を更新。</li> </ul>
12/04/2013	Microsoft SQL Server に対する JDBC ドライバーの要件を更新。



日付	変更
11/11/2013	Sterling B2B Integrator で SWIFTNet7 アダプターを使用するための OpenSSL バージョンの要件を更新。
11/07/2013	Oracle データベースのサポートにおける Oracle Exadata プラットフォームの除外を削除。
10/14/2013	MySQL のサポートはクラスター化されていない Sterling B2B Integrator インストール済み環境に対して行われるという制限を削除。クラスター化されている Sterling B2B Integrator インストール済み環境は、外部の (クラスター化されていない) MySQL データベースで使用できます。
9/24/2013	Solaris パッチをダウンロードするための説明を更新。
9/11/2013	カーネルの要件を明確にするために、Red Hat Enterprise Linux 6.1 の情報を更新。
8/20/2013	32 ビット・システムと 64 ビット・システムの両方でリモート・マップ・テスト機能を使用するには、32 ビット Java Runtime Environment が必要があることを記載するために、Map Editor の要件を更新。
7/3/2013	プラットフォーム、データベース、JDK、および JDBC ドライバーの、サポートされているバージョンの情報を更新。
4/19/2013	リモート・マップ・テスト機能を使用するには、32 ビット Java Runtime Environment が必要があることを記載するために、Map Editor の要件を更新。
4/10/2013	Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 iFix 2 以上での DB2 10.1 のサポートを追加。  DB2 for UNIX/Linux and Windows のすべてのバージョンの JDBC ドライバー情報を更新。
3/6/2013	DB2 for IBM i (iSeries) でサポートされるデータベースおよび JDBC ドライバーの情報を更新。  i5/OS および IBM i (iSeries) の PTF グループの情報を更新。  Red Hat Enterprise Linux および SUSE Linux Enterprise Server に対する OS パッチの推奨を明確にするために、UNIX/Linux の JDK 要件を改訂。
1/23/2013	DB2 のサポートに DB2 pureScale のサポートが含まれない旨の注記を追加。  Solaris 9 および Solaris 10 の最低 Solaris パッチ要件を改訂。
12/20/2012	Sterling B2B Integrator 5.2.4 以上で、DB2 9.7.x での SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 11 のサポートを追加。  Red Hat Enterprise Linux for IBM System z が Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 でサポートされないという例外を削除。
11/26/2012	iSeries ソフトウェアの IBM i V7R1 セクションに、PTF グループ SF99572 のレベル 7 を超えてはいけないという指示を追加。

日付	変更
Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 リリース	<p>Red Hat Enterprise Linux for IBM System z が Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 でサポートされないことを示す例外を追加。</p> <p>Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 以上での IBM AIX 7.1 のサポートを追加。</p> <p>Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 以上での Oracle Solaris および Windows における Oracle JDK 1.6.0_31 のサポートを追加。</p> <p>Sterling B2B Integrator 5.2.4.1 以上 (または場合によっては 5.2.4) での Microsoft SQL Server 2008 R2 (SP1) Enterprise Edition および Standard Edition (10.50.2550.0 以上バージョン 10.50.x.x 以下) のサポートを追加。</p>
9/12/2012	<p>Sterling B2B Integrator 5.2.4 以上での、Red Hat Enterprise Linux for IBM System z 5.5 および 6.1 のサポートを追加 (WebSphere® Transformation Extender のバージョン要件を含む)。</p> <p>IBM JDK for Linux をダウンロードするための説明を更新。</p> <p>Microsoft SQL Server 2005 Enterprise Edition および Standard Edition のバージョン要件を、バージョン 9.x.x 以下の 9.00.3159 以上に更新。</p>
Sterling B2B Integrator 5.2.4 リリース	<p>Sterling B2B Integrator 5.2.4 以上での Red Hat Enterprise Linux Server 6.1 のサポートを追加</p> <p>最小 OS カーネルおよび glibc のバージョン情報を、SUSE および Red Hat Linux の JDK 要件に追加。</p> <p>Sterling B2B Integrator 5.2.4 以上での IBM JDK for Windows の入手方法の説明を追加</p>
03/07/2012	IBM JDK for Windows の入手方法の説明を更新
02/28/2012	iSeries のソフトウェア要件を更新
12/16/2011	<p>Sterling B2B Integrator 5.2.3 以上での IBM i (以前のIBM i5/OS) 7.1 のサポートを追加</p> <p>WebSphere Transformation Extender (WTX) のサポートに関する情報を追加</p> <p>iSeries のハードウェア要件およびソフトウェア要件を更新</p>
09/19/2011	<p>MySQL Enterprise Edition 5.1.45 を指定するように MySQL 5.1.45 を更新</p> <p>Oracle 11g データベースのバージョンおよび JDBC ドライバーのバージョンを更新</p>
09/08/2011	Oracle 11g の最小バージョンの 11.2.0.2.0 への変更

日付	変更
07/20/2011	<p>このバージョンは Windows 7 をサポートします。この情報は、ドキュメントのオリジナル・バージョンには含まれていませんでした。これは、『Map Editor および Graphical Process Modeler System の要件』のトピックに追加されています。</p> <p>さらに、以下の項目も Graphical Process Modeler に追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Graphical Process Modeler を実行するためには、Windows システムに Oracle JDK1.6_24 が必要です。</li> </ul> <p>DB2 9.7 から 9.7.x について、次の情報が訂正されました。JDBC Type-4 ドライバーのバージョンが、誤ってバージョン 9.5 と識別されていました。正しいバージョンは、JDBC Type-4 ドライバー・バージョン 9.7 です (内部ドライバー・バージョン 3.57.82)。</p>
03/31/2011	初版



---

## Notices

This information was developed for products and services offered in the U.S.A.

IBM may not offer the products, services, or features discussed in this document in other countries. Consult your local IBM representative for information on the products and services currently available in your area. Any reference to an IBM product, program, or service is not intended to state or imply that only that IBM product, program, or service may be used. Any functionally equivalent product, program, or service that does not infringe any IBM intellectual property right may be used instead. However, it is the user's responsibility to evaluate and verify the operation of any non-IBM product, program, or service.

IBM may have patents or pending patent applications covering subject matter described in this document. The furnishing of this document does not grant you any license to these patents. You can send license inquiries, in writing, to:

*IBM Director of Licensing*

*IBM Corporation*

*North Castle Drive*

*Armonk, NY 10504-1785*

*U.S.A.*

For license inquiries regarding double-byte character set (DBCS) information, contact the IBM Intellectual Property Department in your country or send inquiries, in writing, to:

*Intellectual Property Licensing*

*Legal and Intellectual Property Law*

*IBM Japan Ltd.*

*19-21, Nihonbashi-Hakozakicho, Chuo-ku*

*Tokyo 103-8510, Japan*

**The following paragraph does not apply to the United Kingdom or any other country where such provisions are inconsistent with local law:** INTERNATIONAL BUSINESS MACHINES CORPORATION PROVIDES THIS PUBLICATION "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. Some states do not allow disclaimer of express or implied warranties in certain transactions, therefore, this statement may not apply to you.

This information could include technical inaccuracies or typographical errors. Changes are periodically made to the information herein; these changes will be incorporated in new editions of the publication. IBM may make improvements and/or changes in the product(s) and/or the program(s) described in this publication at any time without notice.

Any references in this information to non-IBM Web sites are provided for convenience only and do not in any manner serve as an endorsement of those Web sites. The materials at those Web sites are not part of the materials for this IBM product and use of those Web sites is at your own risk.

IBM may use or distribute any of the information you supply in any way it believes appropriate without incurring any obligation to you.

Licensees of this program who wish to have information about it for the purpose of enabling: (i) the exchange of information between independently created programs and other programs (including this one) and (ii) the mutual use of the information which has been exchanged, should contact:

*IBM Corporation*

*J46A/G4*

*555 Bailey Avenue*

*San Jose, CA 95141-1003*

*U.S.A.*

Such information may be available, subject to appropriate terms and conditions, including in some cases, payment of a fee.

The licensed program described in this document and all licensed material available for it are provided by IBM under terms of the IBM Customer Agreement, IBM International Program License Agreement or any equivalent agreement between us.

Any performance data contained herein was determined in a controlled environment. Therefore, the results obtained in other operating environments may vary significantly. Some measurements may have been made on development-level systems and there is no guarantee that these measurements will be the same on generally available systems. Furthermore, some measurements may have been estimated through extrapolation. Actual results may vary. Users of this document should verify the applicable data for their specific environment.

Information concerning non-IBM products was obtained from the suppliers of those products, their published announcements or other publicly available sources. IBM has not tested those products and cannot confirm the accuracy of performance, compatibility or any other claims related to non-IBM products. Questions on the capabilities of non-IBM products should be addressed to the suppliers of those products.

All statements regarding IBM's future direction or intent are subject to change or withdrawal without notice, and represent goals and objectives only.

All IBM prices shown are IBM's suggested retail prices, are current and are subject to change without notice. Dealer prices may vary.

This information is for planning purposes only. The information herein is subject to change before the products described become available.

This information contains examples of data and reports used in daily business operations. To illustrate them as completely as possible, the examples include the names of individuals, companies, brands, and products. All of these names are fictitious and any similarity to the names and addresses used by an actual business enterprise is entirely coincidental.

#### COPYRIGHT LICENSE:

This information contains sample application programs in source language, which illustrate programming techniques on various operating platforms. You may copy, modify, and distribute these sample programs in any form without payment to IBM, for the purposes of developing, using, marketing or distributing application programs conforming to the application programming interface for the operating platform for which the sample programs are written. These examples have not been thoroughly tested under all conditions. IBM, therefore, cannot guarantee or imply reliability, serviceability, or function of these programs. The sample programs are provided "AS IS", without warranty of any kind. IBM shall not be liable for any damages arising out of your use of the sample programs.

Each copy or any portion of these sample programs or any derivative work, must include a copyright notice as follows:

© IBM 2015. Portions of this code are derived from IBM Corp. Sample Programs. © Copyright IBM Corp. 2015.

If you are viewing this information softcopy, the photographs and color illustrations may not appear.

#### **Trademarks**

IBM, the IBM logo, and [ibm.com](http://www.ibm.com)<sup>®</sup> are trademarks or registered trademarks of International Business Machines Corp., registered in many jurisdictions worldwide. Other product and service names might be trademarks of IBM or other companies. A current list of IBM trademarks is available on the Web at "Copyright and trademark information" at <http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml>.

Adobe, the Adobe logo, PostScript, and the PostScript logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States, and/or other countries.

IT Infrastructure Library is a registered trademark of the Central Computer and Telecommunications Agency which is now part of the Office of Government Commerce.

Intel, Intel logo, Intel Inside, Intel Inside logo, Intel Centrino, Intel Centrino logo, Celeron, Intel Xeon, Intel SpeedStep, Itanium, and Pentium are trademarks or registered trademarks of Intel Corporation or its subsidiaries in the United States and other countries.

Linux is a registered trademark of Linus Torvalds in the United States, other countries, or both.

Microsoft, Windows, Windows NT, and the Windows logo are trademarks of Microsoft Corporation in the United States, other countries, or both.

ITIL is a registered trademark, and a registered community trademark of the Office of Government Commerce, and is registered in the U.S. Patent and Trademark Office.

UNIX is a registered trademark of The Open Group in the United States and other countries.

Java and all Java-based trademarks and logos are trademarks or registered trademarks of Oracle and/or its affiliates.

Cell Broadband Engine is a trademark of Sony Computer Entertainment, Inc. in the United States, other countries, or both and is used under license therefrom.

Linear Tape-Open, LTO, the LTO Logo, Ultrium and the Ultrium Logo are trademarks of HP, IBM Corp. and Quantum in the U.S. and other countries.

Connect Control Center<sup>®</sup>, Connect:Direct<sup>®</sup>, Connect:Enterprise<sup>®</sup>, Gentran<sup>®</sup>, Gentran<sup>®</sup>:Basic<sup>®</sup>, Gentran:Control<sup>®</sup>, Gentran:Director<sup>®</sup>, Gentran:Plus<sup>®</sup>, Gentran:Realtime<sup>®</sup>, Gentran:Server<sup>®</sup>, Gentran:Viewpoint<sup>®</sup>, Sterling Commerce<sup>™</sup>, Sterling Information Broker<sup>®</sup>, and Sterling Integrator<sup>®</sup> are trademarks or registered trademarks of Sterling Commerce<sup>®</sup>, Inc., an IBM Company.

Other company, product, and service names may be trademarks or service marks of others.







プログラム番号:

Printed in Japan

**日本アイ・ビー・エム株式会社**

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21